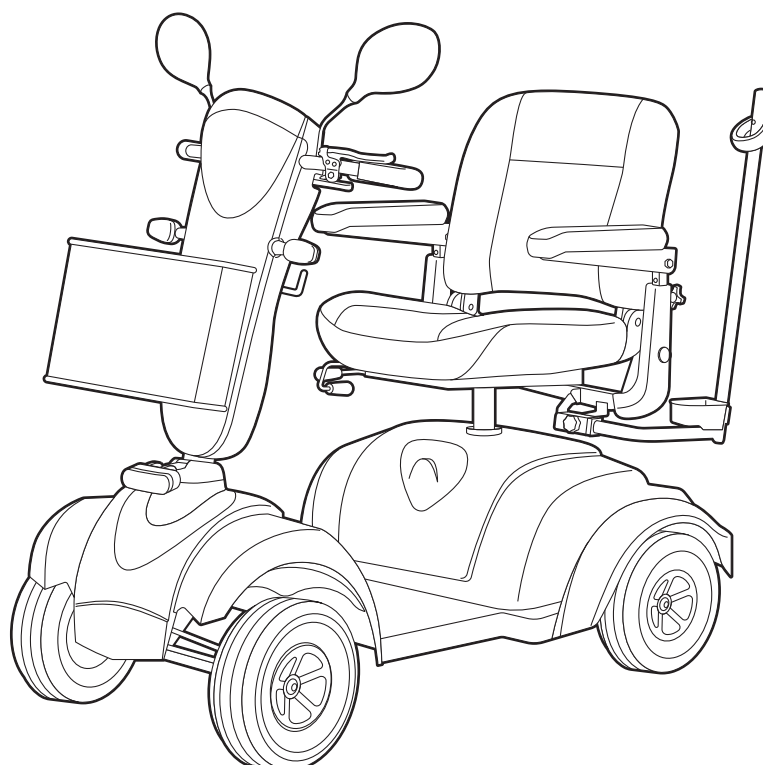


S745 取扱説明書



このたびはフランスベッドの製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
この取扱説明書には、製品を安全にお使いいただくための注意事項と使用方法を記載しています。

- 安全のため、必ずこの取扱説明書をよく読み、内容を十分理解してから使用してください。
- 介助者がいる場合には、介助者も取扱説明書をよく読み、使用上の注意などについて認知し、ハンドル形電動車いすを使用してください。
- 取扱説明書を読んだ後は、いつでも必要なときに取り出せるように、所定の場所に保管してください。

製品を安全にご使用いただくために

- 本製品は、道路交通法では「歩行者」として扱われ、運転免許は必要ありません。「歩行者」としての交通ルールとマナーを守り、安全な走行を心がけてください。
- 操作に慣れるまでは、広い平坦な場所で十分練習してください。
- 運転する前に必ずバッテリー残量を確認し、出発から帰着まで余裕があることを確認してください。
- 使用者最大体重(積載物を含む)は100 kgです。体重制限を守って使用してください。

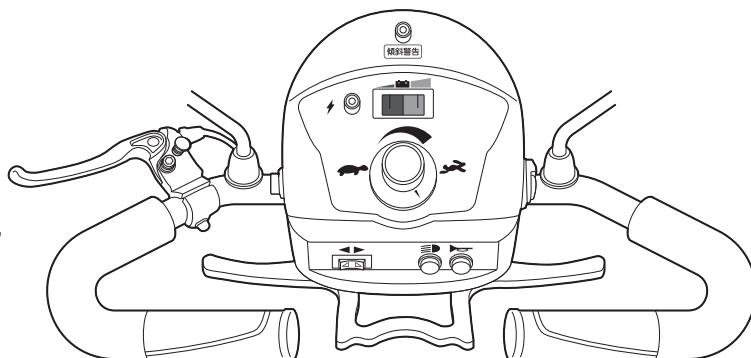
⚠ 使用前には必ず点検を行ってください

- いつも安心して使用するためには、日常の点検・整備が必要です。忘れずに行ってください。
- 製品に異常がある場合は、使用を中止して販売店または弊社お客様相談室へご連絡ください。

特長

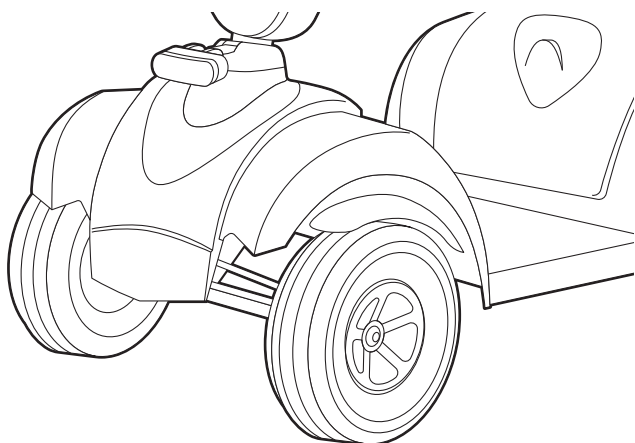
シンプルでわかりやすい操作パネル

ツマミを回すだけで速度の上限を設定。
バッテリー残量もひと目でわかります。



操作しやすいオーバル形状ハンドル

体格や運転姿勢に合わせて握れます。



見やすいフェンダーを装着

前輪の位置がわかりやすく、脱輪を防ぎます。

ノーパンクタイヤを採用

幅 80 mm で線路などの溝にもはまりにくい。

回転シートで乗り降りらくらく

アームレストを跳ね上げることもできます。

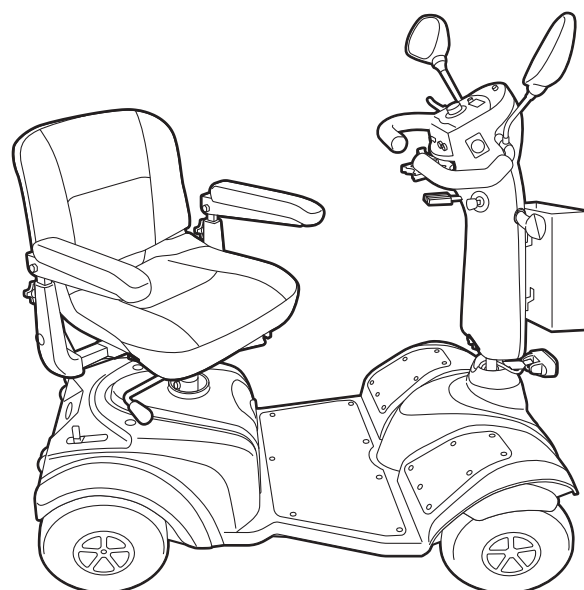
自動減速機能搭載

カーブで自動的に減速する安全設計。

安心の走行距離

満充電最長走行距離 約 22 km。

※ 走行条件・環境などにより変動します。



目次

1	安全のために必ずお守りください.	4
2	各部の名称.	10
3	組み立て・取り付け.	12
	シートの取り付け	13
	アームレストとシートベルトの取り付け	13
	シート周りの調整	14
	シートベルトの使いかた	15
	ハンドルポジションの調整	15
	バックミラーの調整	15
	杖ホルダーの取り付け	16
	前かごの取り付け	16
4	各部の機能と操作	17
	操作パネル	17
	電源スイッチ	18
	電源ランプ	18
	バッテリーメーター	18
	低速モードボタン	19
	走行レバー	19
	切替レバー	20
	手動ブレーキ	20
5	運転のしかた.	21
	走行の前に	21
	乗車する	21
	走行する	22
	停止する・駐車する	23
6	充電のしかた.	24
	充電する	24
	バッテリーについて	25
7	日常点検	26
8	定期点検	30
9	困ったときは.	32
10	諸元表	34
11	点検・整備の記録	37
12	保証書	39

■ 絵表示について

この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全に正しく使用していただき、お使いいただく方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるものです。
 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家財などの損害に結びつく可能性があるものです。
	この記号は、禁止の行為を告げるものです。(～しないでください。)
	この記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。(～してください。)

警告

 次のような場所では、運転を避けるか、介助者に同行してもらい、安全確認や脱輪予防を行ってください。

- ・ 混雑している場所
- ・ 交通量の多い道路
- ・ 幅の広い道路の横断歩道
- ・ 電車などの乗り物に乗るとき
- ・ 踏切
- ・ 狭い道 など

接触や衝突、転倒のおそれがあります。

 脱輪などで動けなくなった場合は、周囲にいる人の助けを借りてください。

自走で脱出しようとしたり、無理に脱出しようすると、事故や故障の原因になります。

 踏切の横断は避けてください。

踏切内で立ち往生してしまうおそれがあります。やむを得ず踏切を渡る場合は、介助者に同行してもらい、線路の溝にはまらないよう、線路に対して直角に走行してください。

立ち往生してしまったら、周囲の人に助けを求めてください。

 冠水路を走行したり、水没させたりしたときは、直ちに使用を中止してください。

火災または故障のおそれがあります。

販売店または弊社お客様相談室に点検を依頼してください。

 充電をするときは、医療用電気機器の作動に影響を及ぼさないか確認してください。

心臓ペースメーカーなどの医療用電気機器を装着されている場合は、充電による影響の有無を医師や医療用電気機器製造業者に確認してください。

 犬などのペットを引きながら走行しないでください。

バランスを崩して転倒・転落などの思わぬ事故の原因になります。

 エスカレーターを利用したり、階段を上り下りしないでください。

転倒して事故やケガにつながるおそれがあります。

 坂道では、切替レバーを「手動モード」の位置で使用しないでください。

静止できず、衝突・転倒のおそれがあります。

警告

❌ 分解・改造・修理は絶対に行わないでください。
製品の強度や耐久性が損なわれ、転倒など事故やケガにつながるおそれがあります。

❌ 故障や異常があるときは使用しないでください。
そのまま使用すると事故の原因になります。

❌ 以下の状況下では、無理な進入や横断を絶対に行わないでください。
・ 走行距離の長い踏切
・ 警報機が鳴り始めている踏切
・ 歩行者用信号が点滅中の横断歩道

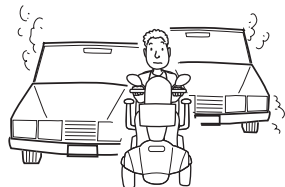
❌ 本製品は1人乗りです。
2人乗り(子供・ペット類も含む)はしないでください。
事故の原因になります。



❌ 荷物のけん引には使用しないでください。
事故の原因になります。



❗ 車道の走行は避けてください。
事故の原因になります。



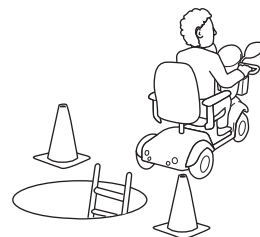
❗ 雨降り時や雪道の走行は避けてください。
事故の原因になります。



❌ 次のような場所には保管・放置しないでください。
・ 直射日光のあたる場所
・ 高温になる場所(火気のある場所)
・ 湿気の多い場所
・ 雨のあたる場所
故障の原因になります。

❌ 子供が遊ぶような場所には保管・放置しないでください。
ケガや故障の原因になります。

❗ 後退するときは、後方の人や障害物、くぼみなどに十分注意してください。
事故の原因になります。



❌ 運転時は電動車いすから身体をはみ出さないでください。
ステップに両足が載っていない状態では走行しないでください。
バランスを崩して転倒したり、事故の原因になります。



❌ 以下のようなときは運転しないでください。
・ お酒を飲んだとき
・ 眠気をもよおす薬を服用したとき
・ 気分がすぐれないとき
・ 過労気味
・ 病気 など
事故の原因になります。



❌ 走行中は、携帯電話やヘッドホンステレオなどを使用しないでください。
事故の原因になります。



1 安全のために必ずお守りください (つづき)

警告



防止柵のない側溝付近の走行は避けてください。
転倒や事故の原因になります。

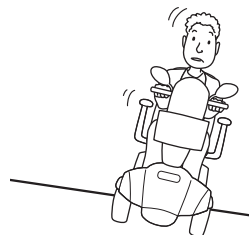


急な傾斜面の横断は避けてください。

横転するおそれがあります。
走行できる角度は4°が目安です。

傾斜面を横断するときは、
身体を斜面の高い方に傾けて
バランスを取ってください。

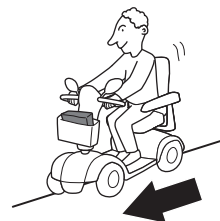
急な傾斜面(左右約4°以上)を走行すると、ランプの点滅と音で警告をお知らせします。



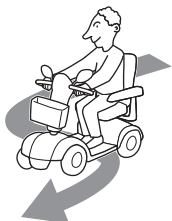
夜間の走行は避けてください。
事故の原因になります。



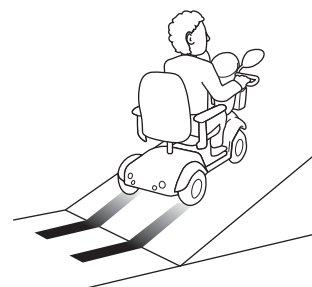
下り坂では前かごに重い荷物を載せないでください。
転倒の原因になります。



蛇行、急旋回、急停止はしないでください。
事故の原因になります。



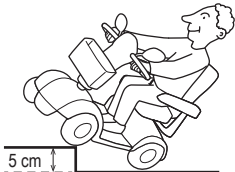
坂道を走行するときは、勾配に対して垂直に走行してください。
転倒するおそれがあります。



大きな段差の通過は避けてください。

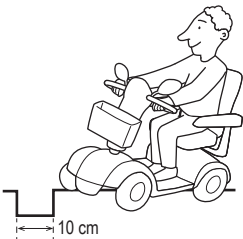
転倒や事故の原因になります。
通過できる段差の目安は
5 cm です。

段差を越えるときは両手でハンドルをしっかり握り、
段差に対して直角に前進走行してください。



10 cm 以上の溝は越えないでください。

事故の原因になります。
溝を越えるときは垂直で進入し、
低速で走行してください。

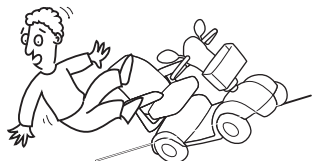


凸凹道、砂利道、草地などは走行しないでください。
転倒や電動車いすの損傷の原因になります。



下り坂を後ろ向きで降りないでください。

転倒するおそれがあります。
必ず前進走行で降りてください。



警告



10°以上の斜面には侵入しないでください。

転倒などの事故の原因になります。

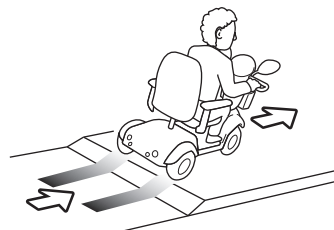
走行できる角度は登坂、降坂ともに10°が目安です。

急な坂道(前後約10°以上)を走行すると、ランプの点滅と音で警告をお知らせします。



段差を越える際は、垂直で進入し、低速で走行してください。

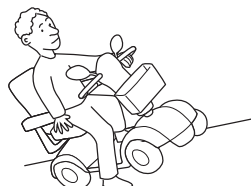
事故の原因になります。



坂道で電動車いすを乗り降りしないでください。

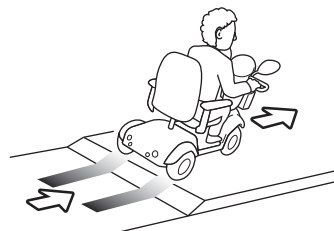
事故の原因になります。

必ず平らな場所に止めてから降りてください。



短い急斜面を乗り越える際は、斜面に対して垂直に一定の速度を保って侵入してください。

事故の原因になります。



注意



電動車いすは、道路交通法では「歩行者」として取り扱われます。

歩行者としての交通ルールを守って安全に走行してください。



運転に支障がある服装は避けてください。

ハンドルや走行レバーに引っかかったり、車輪に巻き込まれるような服装は避けてください。



歩道や横断歩道を走行してください。

歩道のないところでは右側通行してください。

横断歩道では、一時停止して安全を確認してください。



斜め横断はしないでください。

渡り切るのにより時間がかかるため、他の交通の妨げになるおそれがあります。



やむを得ず車道に出るときは、車や段差に十分注意してください。

歩道が途切れたところや、歩道が走行できない場合など、車道に出るときは十分注意してください。



本製品が身体に合わない場合は、使用しないでください。

健康を損なうおそれがありますので、医師や看護師などの医療従事者に相談してください。事故や体調不良をおこすおそれがあります。



歩行者用の標識や信号、踏切の警報機などを守ってください。



立ち上がった状態で運転しないでください。

転倒してケガをするおそれがあります。



使用者最大体重(積載物を含む)は 100 kg です。
この重量を超えて使用すると、故障や破損の原因になります。



シンナーやベンジンなどの溶剤は使用しないでください。

製品を傷めるおそれがあります。

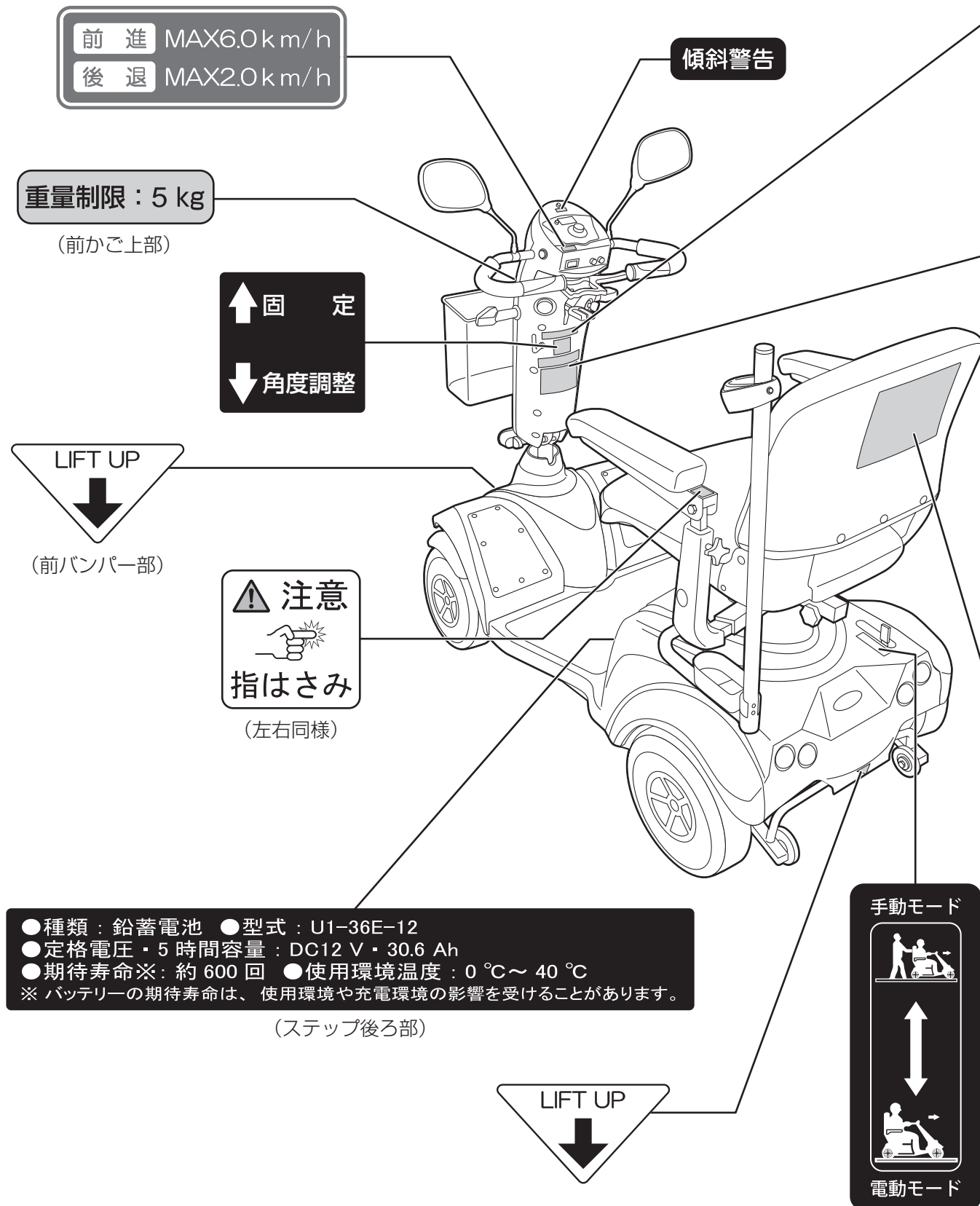
1 安全のために必ずお守りください (つづき)

■ ラベルについて

電動車いすには、取り扱い上の重要事項を記載したラベルが貼ってあります。

ご使用前に必ずお読みください。

● ラベルを汚したり、はがしたりしないでください。





⚠ 警告

- 最高速度での急旋回は転倒の危険があります。旋回時は速度を落としてください。
- 乗り降りは、必ず電源キーを OFF にした状態で行ってください。



緊急時の対応方法について

電動走行ができなくなった時は・・・

- 本製品は、車体後方の「切替レバー」により電動走行と手動（手押し）の切替ができます。
- バッテリー切れや故障などにより車体が動かなくなった時は、後方のレバーを手動モードにし、速やかに安全な場所へ移動して下さい。
- 充電後再び電動走行する場合は、電源を切った状態でレバーを電動モードにして、電源を入れ直してください。

手動モード



電動モード

⚠ 警告

使用前に必ず取扱説明書を読み、
ルールを守って安全に運転・保守を行いましょう。

- ・ 乗り降りは平らな場所で **電源を切ってから** 行いましょう。
- ・ 使用者最大体重（積載物を含む）は **100 kg** です。
- ・ **5 cm 以上の段差** や **10 cm 以上の溝** の通過は避けましょう。
- ・ ステップの上に **両足を乗せて** 走行しましょう。



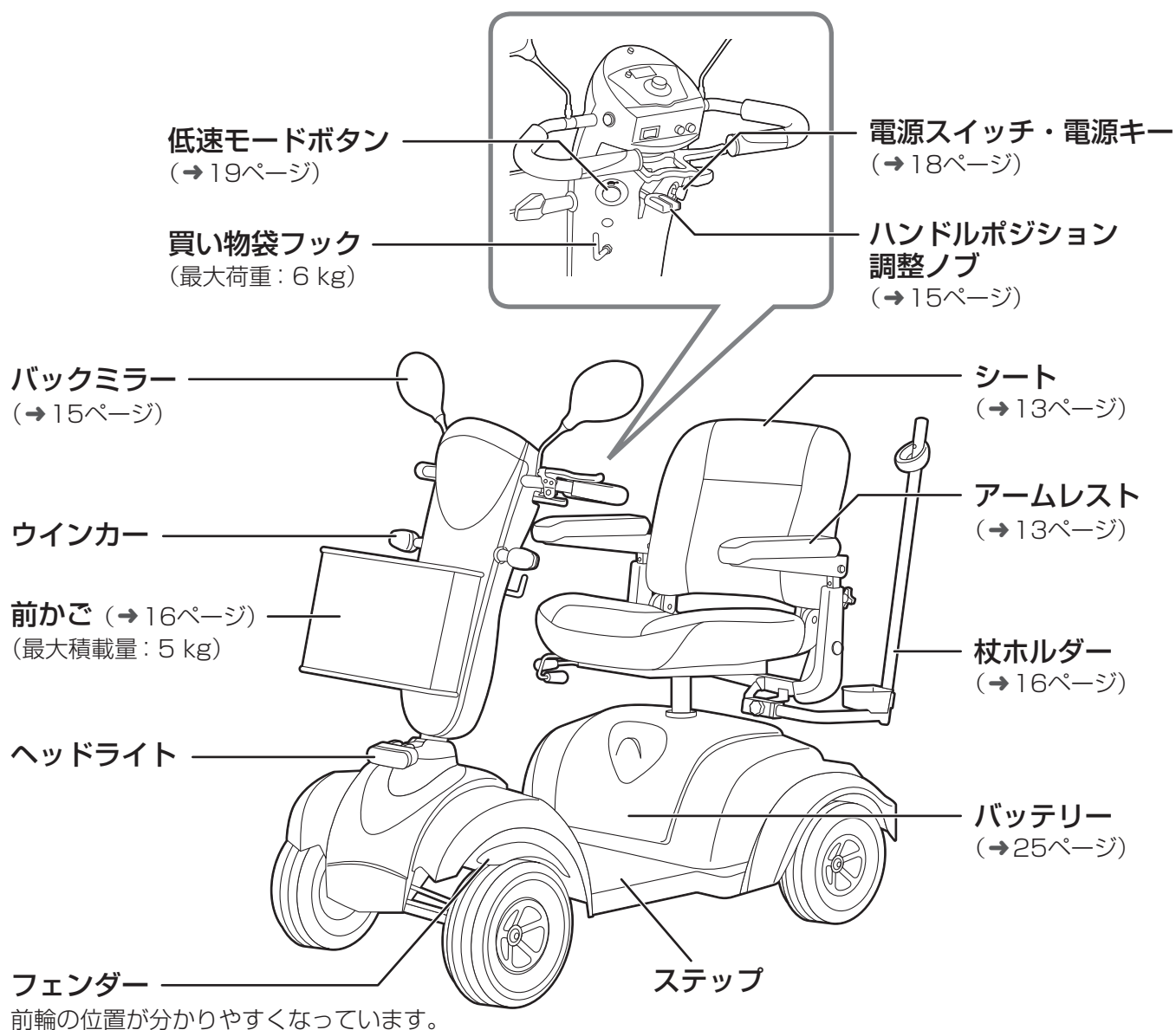
⚠ 注意

踏切の横断

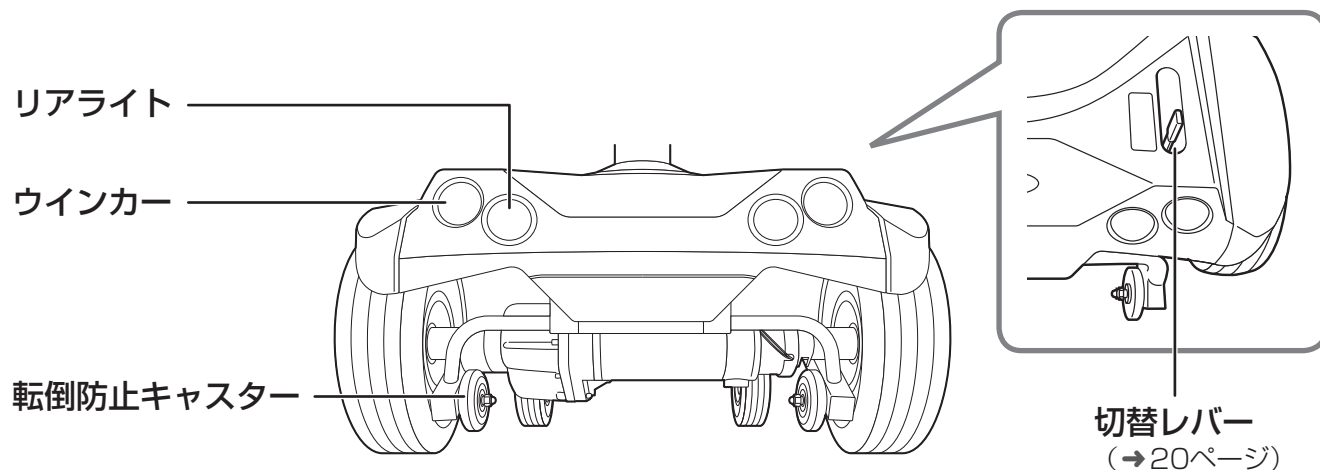
- ・ 踏切内で立ち往生してしまうおそれがあるため、踏切の横断はできるだけ避けましょう。
- ・ やむを得ず踏切を渡る場合は、介助者に同行してもらいましょう。
- ・ 立ち往生してしまったら、周りの人に助けを求めましょう。

2 各部の名称

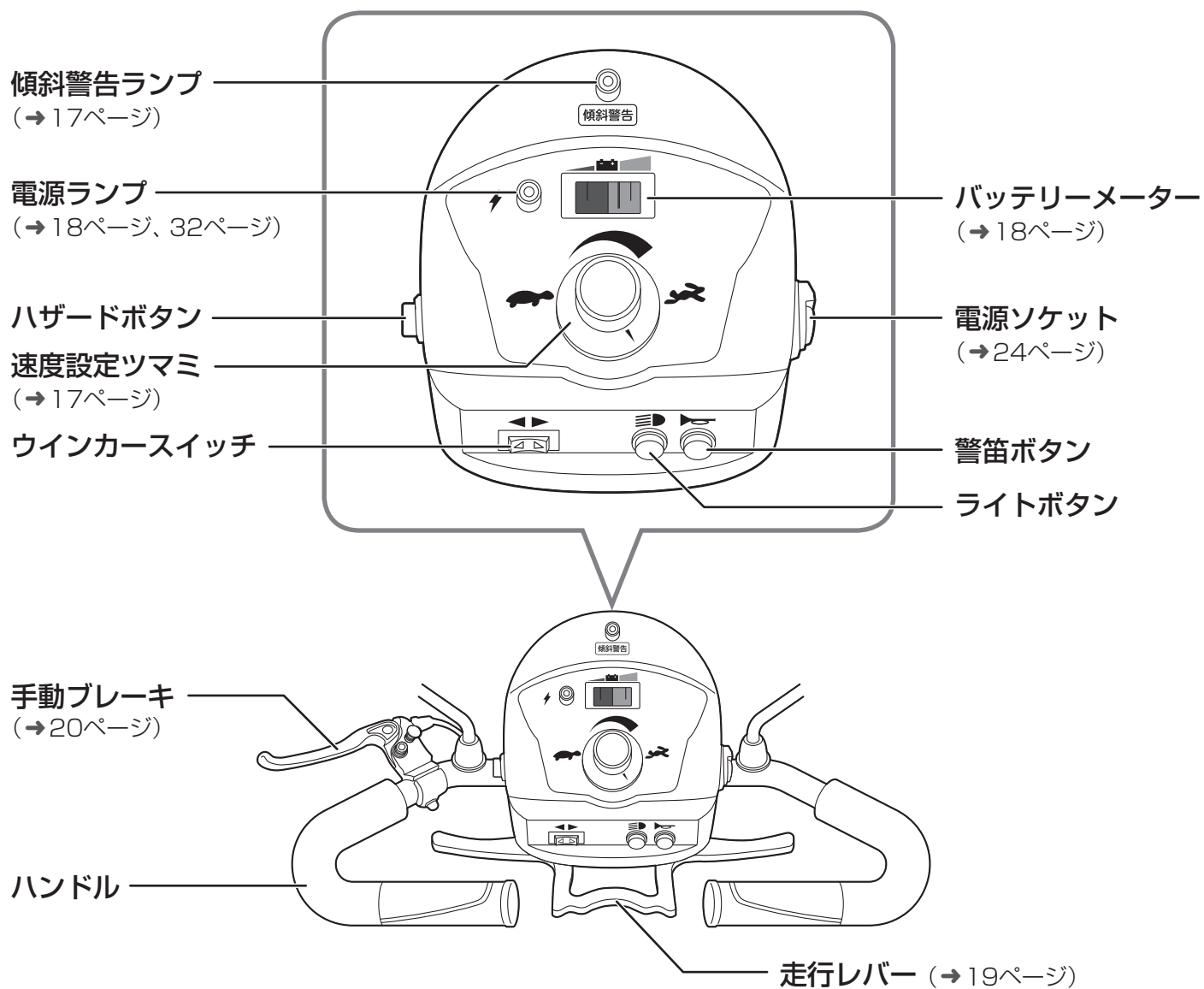
■ 電動車いす(外観)



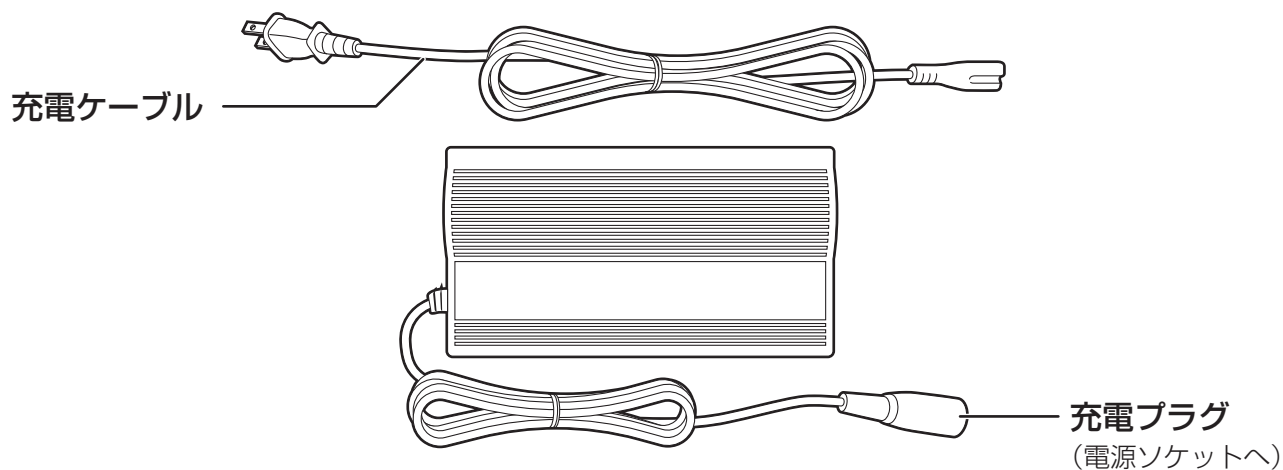
■ 電動車いす(後部)



■ 電動車いす(操作パネル・ハンドル部)

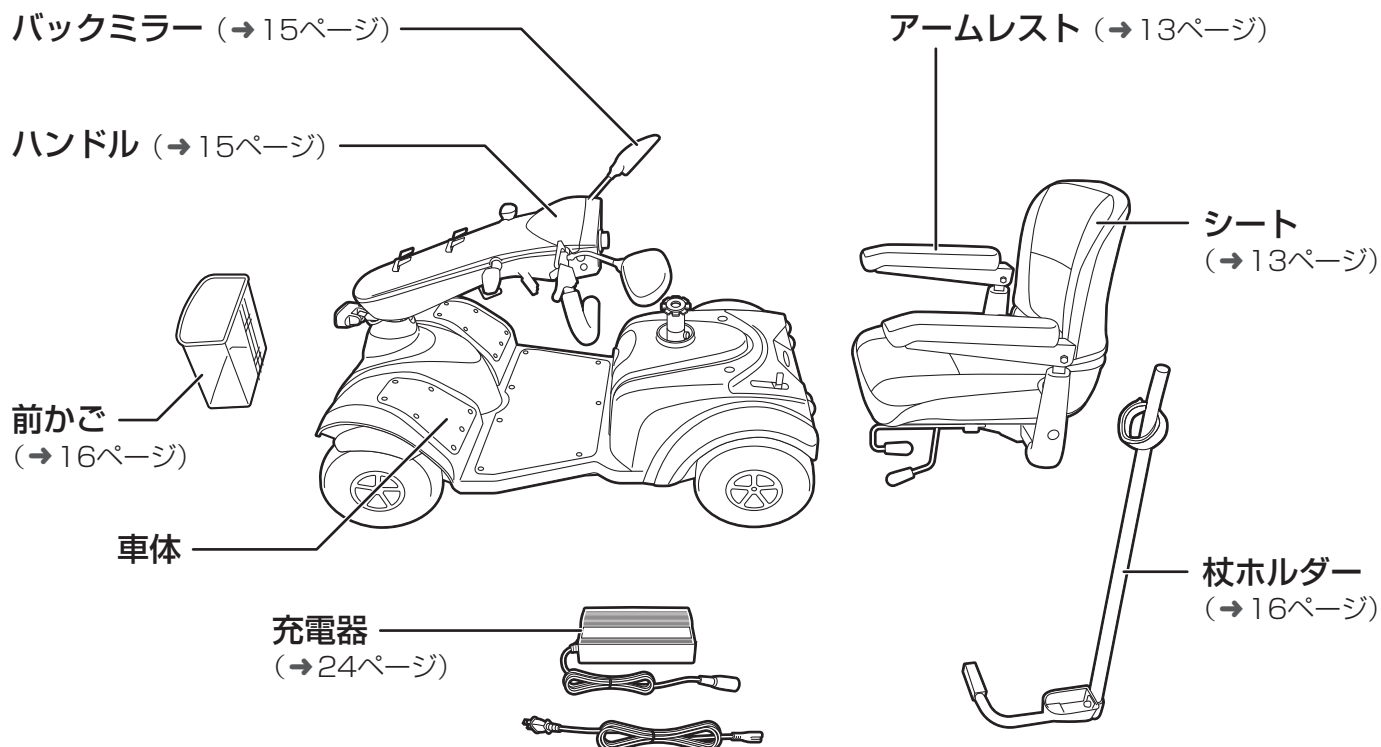


■ 充電器



3 組み立て・取り付け

納品時は、下図のように一部の部品が分解された状態で納品されます。
分解されている部品は個々に梱包され、一体の梱包で納品されます。
以降の記載を参照して、各部品を組み立て・取り付けてください。



⚠ 警告

❗ 組み立て時は、重い部品を持ち上げる作業が伴います。

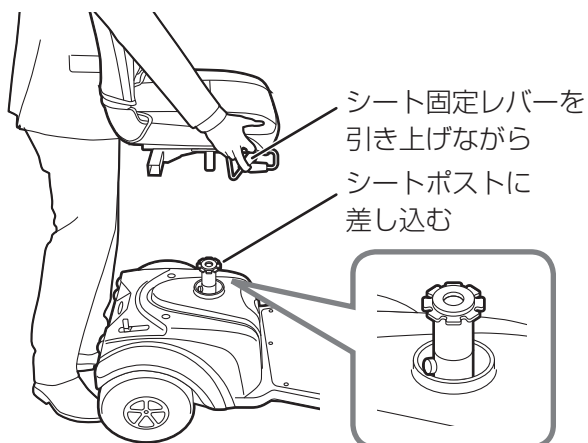
❗ 部品の持ち上げや取り回しの際に、指をはさんだり手が下敷きになったりしないように注意してください。
手袋の着用をおすすめします。

⚠ 注意

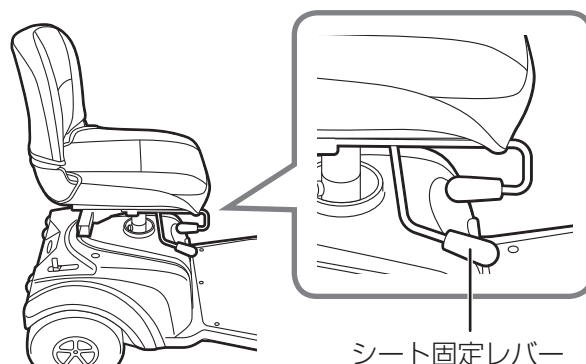
❗ 納品時、バッテリーは十分に充電されていません。
ご使用前にバッテリーを充電してください。

シートの取り付け

- 1** シート固定レバーを引き上げながら、シートポストに差し込みます。



- 2** シート固定レバーを放して、シートを固定します。

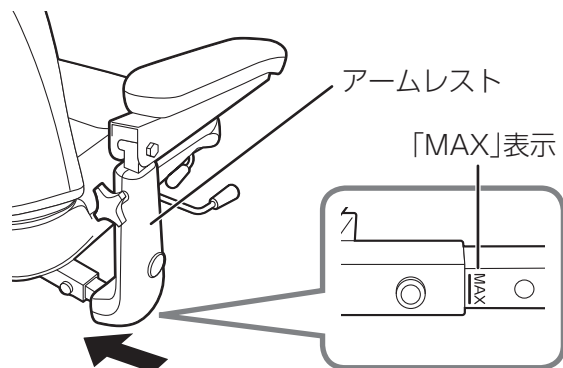


アームレストとシートベルトの取り付け

アームレストとシートベルトは左右の形状が異なります。
部品を確認して、片方ずつ取り付けてください。

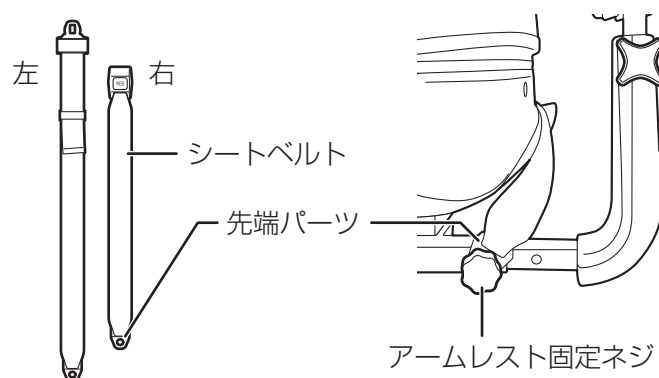
- 1** アームレストをシート後方のパイプに挿入します。

- 「MAX」表示より奥まで挿入し、アームレスト側の角パイプ(内側のパイプ)と外側のパイプの穴位置を合わせてください。
(左右共に3段階に調整できます。)



- 2** シートベルトの先端部分をアームレスト固定ネジに通して締めます。

- 同様の手順で、もう1つのアームレスト・シートベルトも取り付けてください。



⚠ 注意



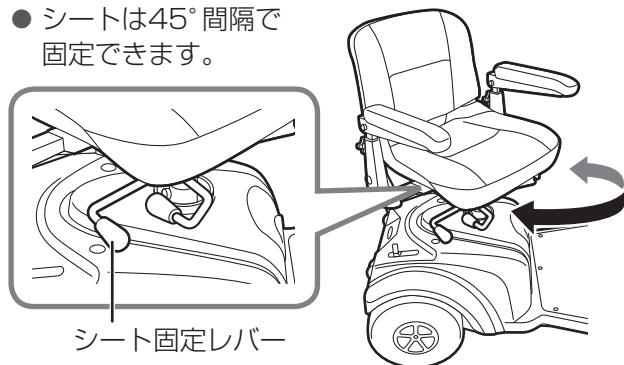
アームレスト幅を「MAX」表示より広くすると固定されず危険です。
必ず「MAX」表示より奥まで挿入してください。

シート周りの調整

■ シートの回転調整

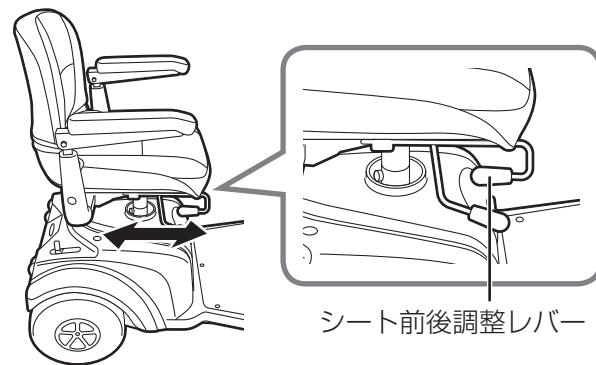
シート固定レバーを引き上げるとシートが回転し、乗り降りを楽に行うことができます。レバーを放すとシートが固定されます。

- シートは45° 間隔で固定できます。



■ シートの前後調整

シート前後調整レバーを引き上げると、シートが前後に動きます。運転しやすい位置に調整し、レバーを放します。



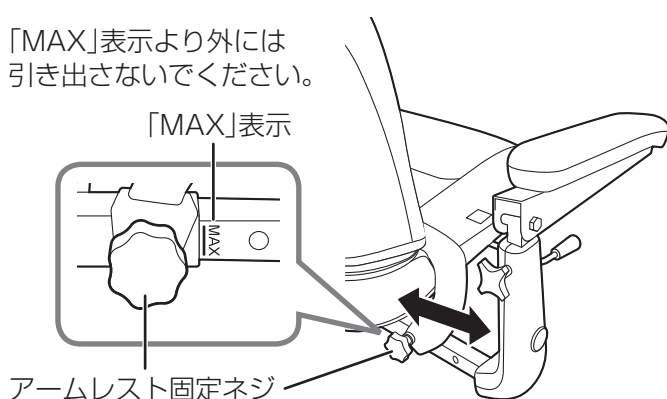
■ アームレストの幅調整

アームレスト固定ネジを緩め、アームレストの取り付け幅を調整します。

左右共に3段階に調整できます。

調整後、内側の角パイプと外側の角パイプの穴位置を合わせて、固定ネジを締めます。

- 「MAX」表示より外には引き出さないでください。



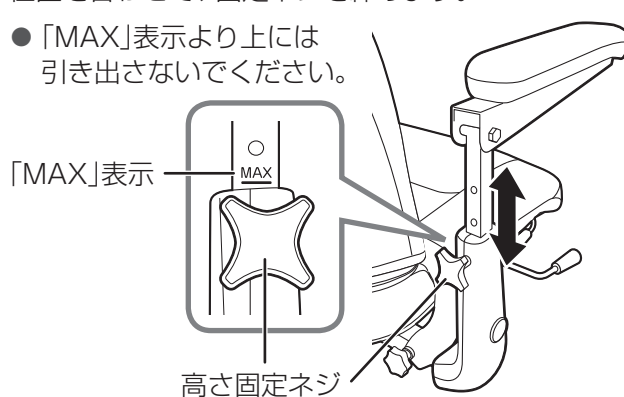
■ アームレストの高さ調整

アームレストの高さ固定ネジを緩め、アームレストの高さを調整します。

左右共に、座面から 150 mm ～ 220 mm の間で3段階に調整できます。

調整後、内側の角パイプと外側のアームレストの穴位置を合わせて、固定ネジを締めます。

- 「MAX」表示より上には引き出さないでください。



■ 背もたれの折り畳み

シートの背もたれは前方に折り畳めます。

手押し時などに車体を移動させやすくなります。

■ アームレストの跳ね上げ

アームレストは上に跳ね上げることができます。

乗り降りを楽に行うことができます。

警告

！ シートを動かした後は、シート全体を軽く前後左右に動かして、シートが確実に固定されていることを確認してください。

⊘ アームレストに腰を掛けたり荷物をのせるなど、大きな力を加えないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

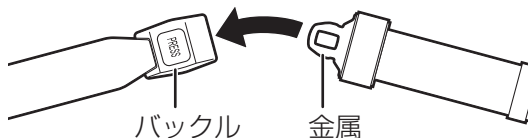
！ 走行するときは、必ずシートを前向きにしてください。前向き以外の位置で走行すると、運転操作が十分に行えず、衝突・転倒するおそれがあります。

シートベルトの使いかた

■ シートベルトを締めるとき

- 1 シートベルト先端の金属をバックルに差し込みます。

ロックされるまで差し込んでください。



- シートベルトが緩いときは、腹部を強く圧迫しない程度にベルトの長さを調整してください。

■ シートベルトを外すとき

- 1 バックルの赤い「PRESS」ボタンを押します。



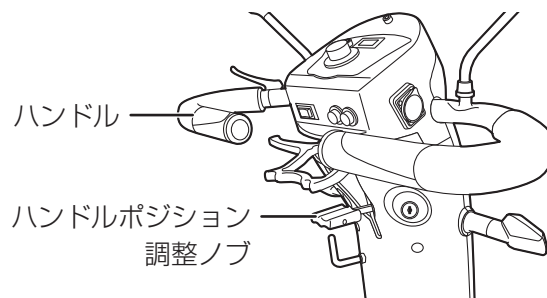
⚠ 警告

- ⚠ 姿勢が崩れやすい場合は、シートベルトを着用して転落しないよう安全にお使いください。

ハンドルポジションの調整

ご自身の運転姿勢に合わせてハンドルの角度を調整します。

- 1 ハンドルを片手で支えながら、もう片方の手でハンドルポジション調整ノブを下げます。
- 2 ハンドルポストの角度を調整し、操作しやすい位置に合わせます。
- 3 ハンドルの角度が決まったら、ハンドルポジション調整ノブを上げて固定します。



⚠ 警告

- ⚠ ハンドルポストの角度調整後は、ハンドルポジション調整ノブをしっかりと上げて確実に固定してください。走行中にハンドルポジションが変わり、転倒などの事故につながるおそれがあります。

バックミラーの調整

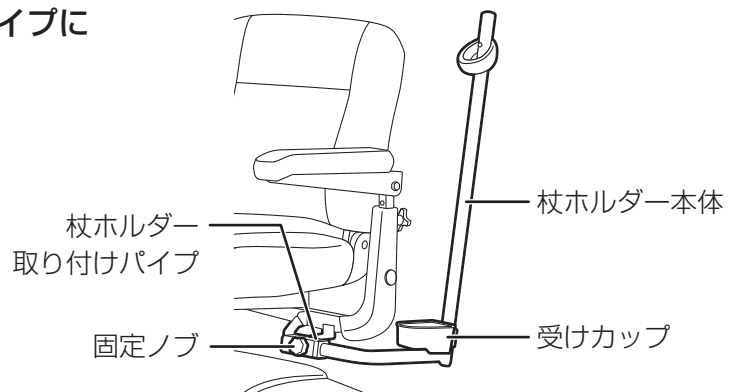
走行時に後方を確認するためのバックミラーです。
シートに座った状態で後方が見えるように角度を調整します。

⚠ 注意

- ⚠ 角度の調整は走行前に行ってください。
走行中に行くと、前方不注意の原因になります。

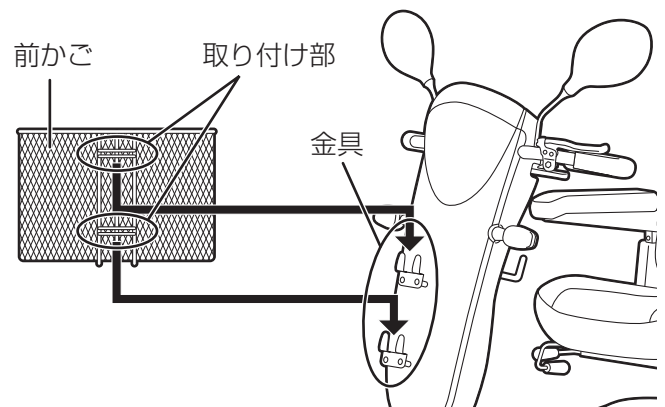
杖ホルダーの取り付け

- 1 シート左下にある杖ホルダー取り付けパイプに杖ホルダーを挿入します。
突き当たるまで挿入してください。
- 2 穴位置を合わせて固定ノブを締めます。



前かごの取り付け

- 1 ハンドルの前側にある2箇所の金具に、前かごの取り付け部を合わせて掛けます。



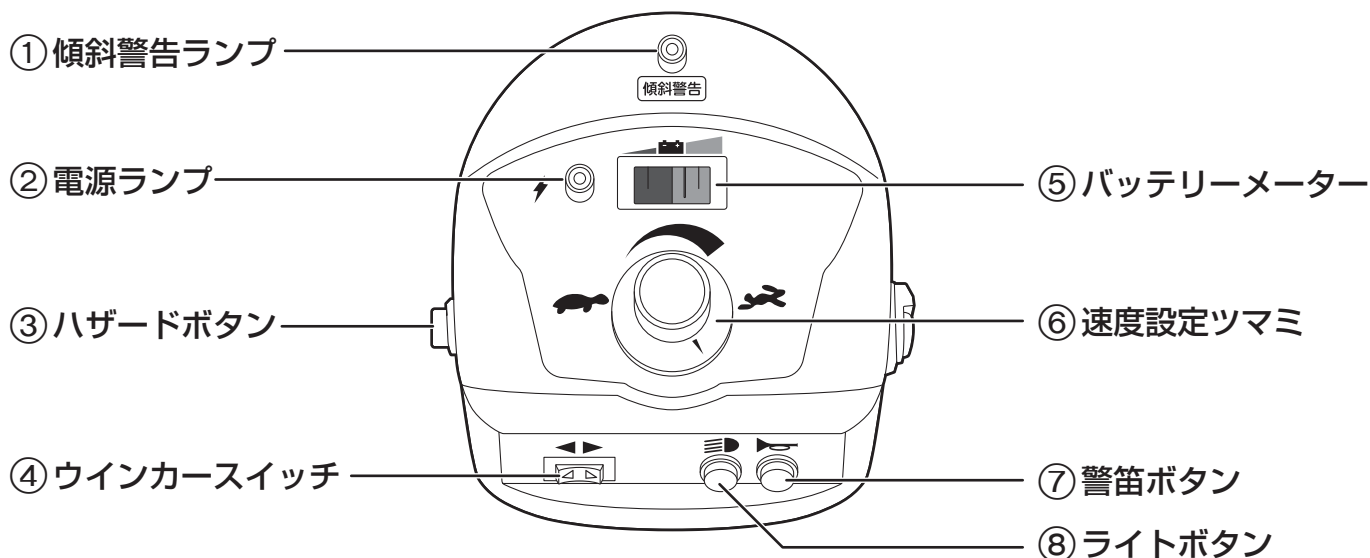
⚠ 注意

⚠ 前かごの最大積載荷重は 5 kg です。
それ以上の重さの荷物は載せないでください。

⚠ 前かごの上部から荷物がはみ出さないようにしてください。
はみ出した荷物が、走行やハンドル操作に支障をきたすおそれがあります。

4 各部の機能と操作

操作パネル



① 傾斜警告ランプ

一定の傾斜にさしかかると音と点滅でお知らせします。

- 前後10°、左右4°でセンサーが反応し、進入から約4秒後にお知らせします。

② 電源ランプ

電動車いすの状態を示します。(→ 18ページ)

③ ハザードボタン

前後左右のウインカーの点滅と警笛で回りに知らせます。

もう一度押すと、消音・消灯します。

④ ウインカースイッチ

押した方向の前後のウインカーが警笛と共に点滅します。

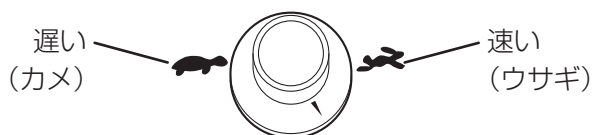
もう一度押すと、消音・消灯します。

⑤ バッテリーメーター

バッテリー残量を表示します。(→ 18ページ)

⑥ 速度設定つまみ

つまみを回して、走行速度の上限を設定します。



前進の最高速度は時速 6 km/h、
後退の最高速度は時速 2 km/h です。

お知らせ

- 本製品は、下り坂走行時に 6 km/h を超えないように設計されています。平坦な道では 6 km/h に達しない仕様になっています。

⑦ 警笛ボタン

押すと警笛が鳴ります。放すと警笛が止まります。警笛は電動車いすが近づいていることを周りの人などに知らせるのに便利です。

見通しの悪い曲がり角を走行するときにも警笛が役立ちます。

- 必要なとき以外は鳴らさないでください。

⑧ ライトボタン

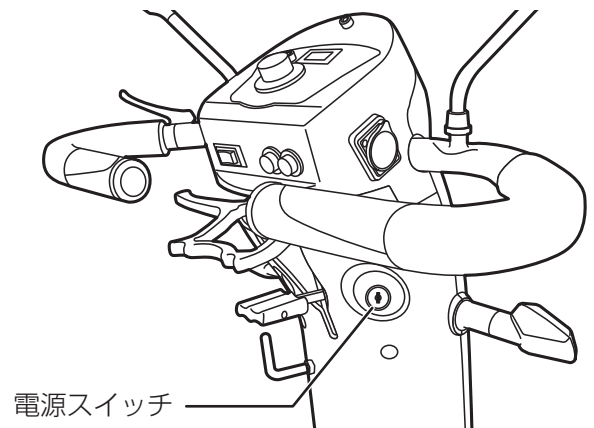
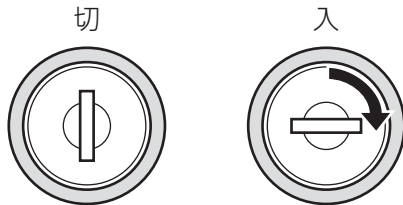
ヘッドライト・リアライトが点灯します。
もう一度押すと消灯します。

4 各部の機能と操作（つづき）

電源スイッチ

電源スイッチに電源キーを挿し込み、電源の 入／切 操作を行います。

キーを右に回すと電源スイッチが「入」になります。
キーを左に回すと電源スイッチが「切」になります。



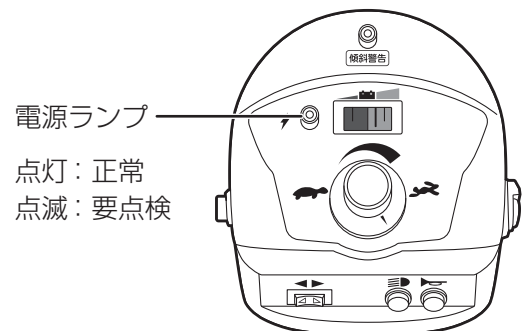
お知らせ

- 電源が入ったまま10分以上放置すると、自動的に通電を停止します。
再度通電する場合は、一度電源スイッチを切り、電源を入れ直してください。

電源ランプ

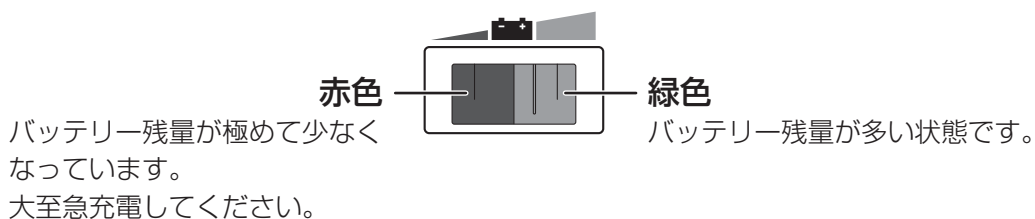
電源スイッチを「入」にすると電源ランプが点灯します。

点検が必要な場合には電源ランプが点滅してお知らせします。
連続する点滅回数で点検内容を示します。
(約2秒の消灯を挟んで点滅を繰り返します。)
点滅パターンとその意味・対処方法については、
「■ 電源ランプの連続点滅について」(→32ページ)をご覧ください。



バッテリーメーター

バッテリー残量を表示します。
バッテリーの消費に連動して残量表示の針が右の緑色から左の赤色に動きます。
針が赤色に移動する前にバッテリーを充電してください。

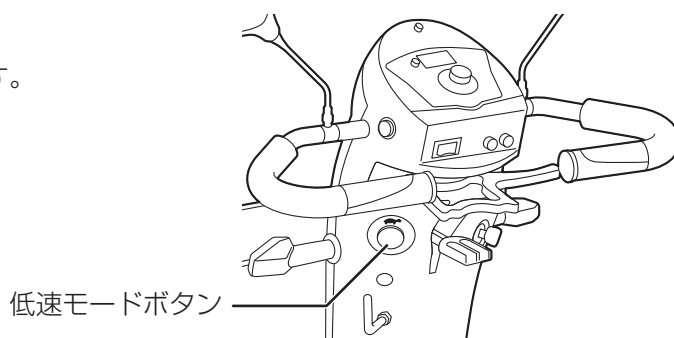


お知らせ

- バッテリーメーターの表示が、走行中の表示より停止後に増加する場合がありますが、走行停止により一時的に電圧が回復するもので異常ではありません。

低速モードボタン

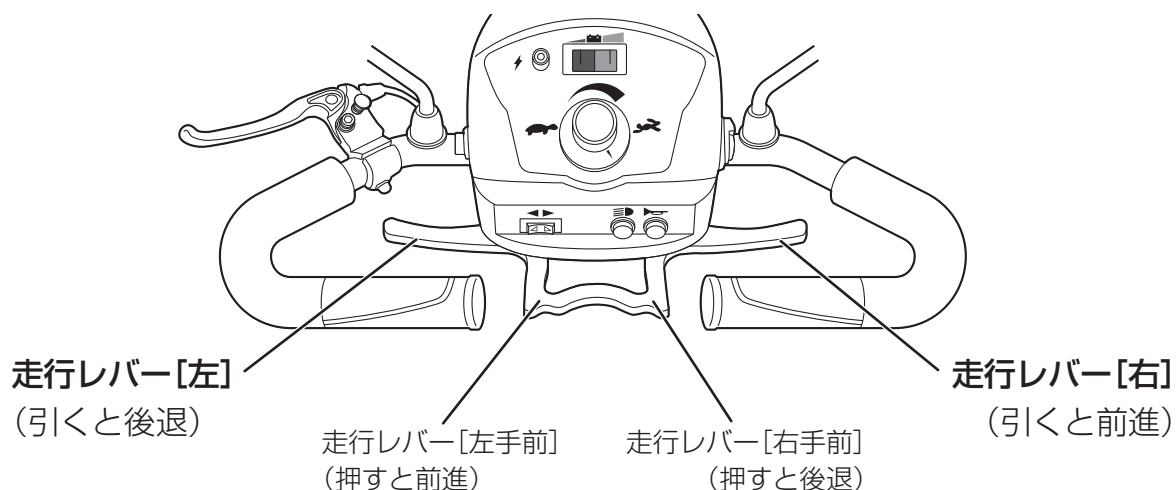
低速モードボタンを押すと、走行速度の上限が「速度設定ツマミ」で設定した速度の半分に減少します。もう一度押すと解除します。



走行レバー

前進／後退するときに操作します。

- 運転中は両手でハンドルを握り、片手運転は行わないでください。



右側の走行レバーを引くと、前に進みます。

左側の走行レバーを引くと、後ろに進みます。

- レバーの引き加減で速さをコントロールします。
- 後ろに進むときは後方の安全に十分注意して操作してください。

自動制御の電磁ブレーキ

走行中に走行レバーを放すと自動制御の電磁ブレーキが働き、安全に停止します。

電磁ブレーキは、電源スイッチを切った状態でも機能しています。

お知らせ

- 手押しで車体を動かしたい場合は、電源を切った状態で、切替レバーを「手動モード」の位置にしてください。
(→20ページ)

4 各部の機能と操作（つづき）

切替レバー

切替レバーは、電動モードと手動モード(手押し)を切り替える装置です。

手で押して動かしたいとき：

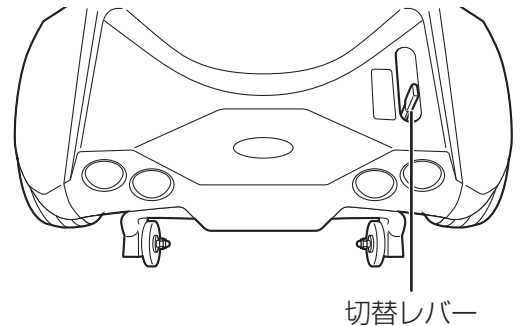
切替レバーを「手動モード」の位置にします。

電動走行したいとき：

切替レバーを「電動モード」の位置にします。

お知らせ

- 手動モードに切り換えると、電磁ブレーキが解除されます。
- 切替レバーが「手動モード」の位置にある状態で電源スイッチを入れると、電源ランプが5回点滅を繰り返して、電動走行できない状態であることをお知らせします。
電動走行する場合は、切替レバーを「電動モード」の位置に戻してから、電源を入れてください。



	手動モード 手で車体を動かすためのモードです。 モーターによる走行はできません。
	電動モード モーターで走行するためのモードです。 手で車体を動かすことはできません。

警告

-  坂道や傾斜のある場所では、切替レバーを「手動モード」の位置にして使用しないでください。
電磁ブレーキが効かず、電動車いすが制止できなくなるおそれがあります。

手動ブレーキ

手動ブレーキは、手動モード(手押し)で動かしているときに使用します。

パーキングボタンは、駐車する時に手動ブレーキが効いた状態を保つために使用します。

- 手動モードの状態ですら、必ずパーキングブレーキをかけてください。

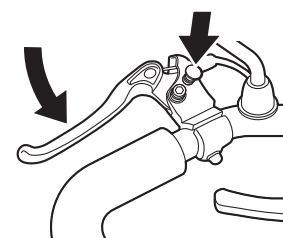
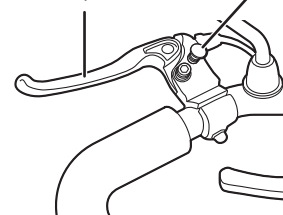
■ パーキングボタンの使いかた

手動ブレーキレバーをしっかりと握りながら、パーキングボタンを押します。

ブレーキが掛かった状態を保ちます。

解除するときは、手動ブレーキレバーをしっかりと握ると、パーキングボタンが戻り、ブレーキが解除されます。

手動ブレーキレバー パーキングボタン



警告

-  電動走行中は、手動ブレーキを使用しないでください。
-  電動走行前には、必ずパーキングボタンが解除されていることを確認してください。
走行が不安定になるおそれがあります。

5 運転のしかた

警告

- ！ 電動車いすの運転に慣れるまでは、公園などの広い場所で、介助者の立ち会いのもとに十分な練習を行ってください。
不慣れな状態での運転は事故の原因になります。

注意

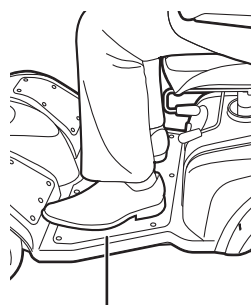
- ！ 事故や盗難を防ぐために、電源キーは厳重に保管してください。

走行の前に

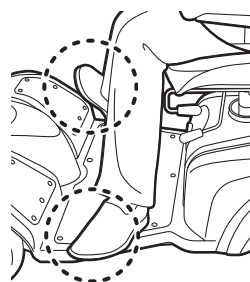
- ① 切替レバーが「電動モード」の位置にあることを確認します。(→20ページ)
- ② パーキングブレーキが掛かっていないことを確認します。(→20ページ)

乗車する

- 1 電源スイッチが「切」になっていることを確認します。(→18ページ)
- 2 シートに座り、深く腰を掛けます。
シートを回転させたり、アームレストを跳ね上げたりすると乗車が楽になります。(→14ページ)
- 3 バックミラーを動かして、後方の状況がよく見えるように調整します。
- 4 両足をステップからはみ出さない位置に寄せ、ハンドルを両手で握ります。
ハンドルが遠い、または近すぎる場合は、シートの前後位置を調整してください。(→14ページ)
- 5 シートベルトを着用します。(→15ページ)



ステップ



はみ出さないようにしてください。

警告

- ！ 電動車いすへの乗り降りは、平らな場所で電源スイッチを「切」にした状態で行ってください。
電動車いすが動いてバランスを崩し、転倒や転落事故の原因になります。
- ⊘ ステップに両足が乗っていない状態で、電動車いすを走行させないでください。
転倒・事故の原因になります。

走行する

1 電源キーを挿し込み、電源スイッチを「入」にします。(→18ページ)

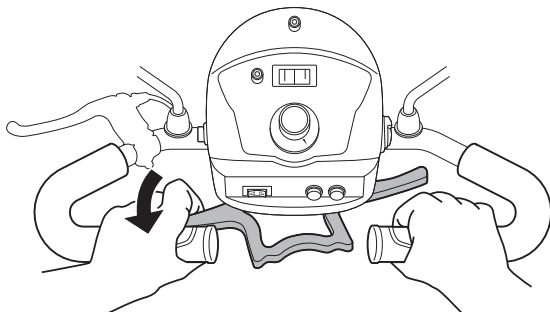
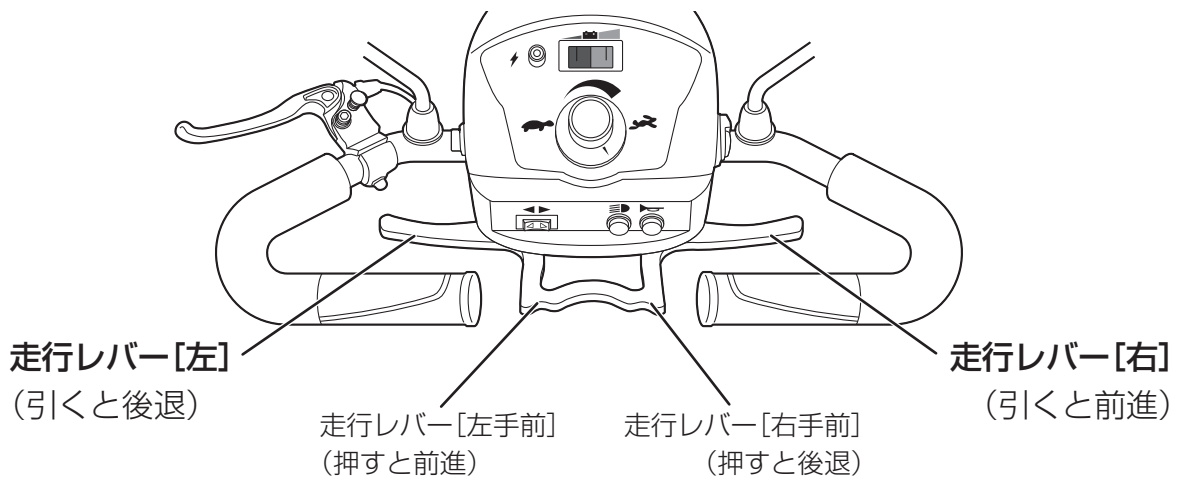
2 バッテリーメーターでバッテリー残量を確認します。(→18ページ)

バッテリーの残量が少ない場合は充電してください。(→24ページ)

3 速度設定つまみで速度を設定します。(→17ページ)

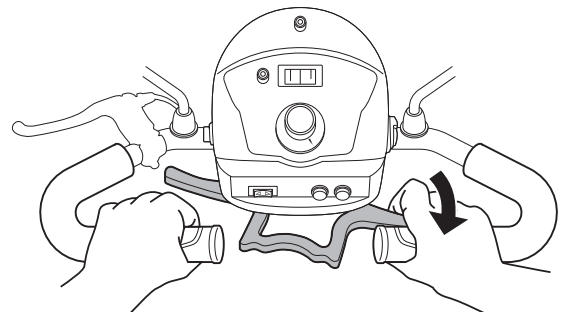
4 走行レバーを操作して走行します。

● 運転中は両手でハンドルを握り、片手運転は行わないでください。



後退するときは、左側の走行レバーを引きます。

- 後退時は警笛が鳴り周囲にお知らせします。
- 走行レバーの引き加減で速さをコントロールします。
- 走行レバーを放すと、電磁ブレーキが掛かり停止します。

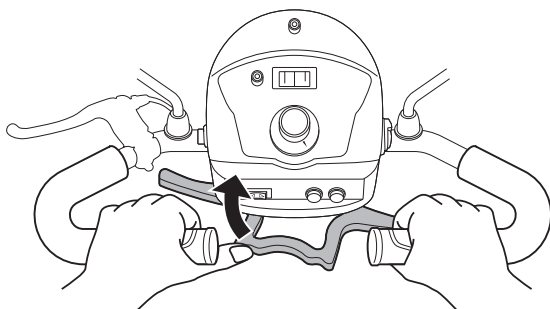


前進するときは、右側の走行レバーを引きます。

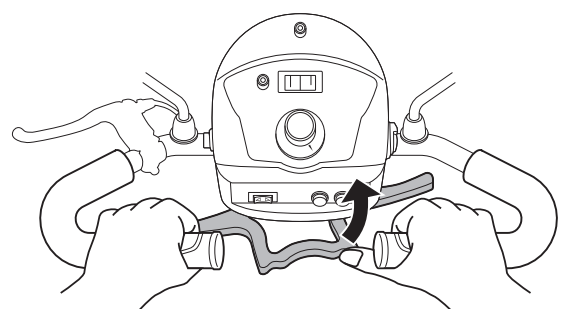
- 走行レバーの引き加減で速さをコントロールします。
- 走行レバーを放すと、電磁ブレーキが掛かり停止します。

■ 手前の走行レバーで操作する場合は

走行レバーの手前を親指で押して操作します。



左手前の走行レバーを押すと前進します。



右手前の走行レバーを押すと後退します。

停止する・駐車する

1 走行レバーから手を放します。

自動制御(電磁)ブレーキが掛かり停止します。

2 駐車するときは、周囲の安全を確認して、通行の妨げにならない場所に駐車してください。

● 手動モード(手押し)の状態では、必ずパーキングブレーキを掛けてください。

3 駐車するときは、必ず電源スイッチを「切」にして、電源キーを抜いてください。

警告



走行中に電源スイッチを「切」にしないでください。
急停止して転倒するおそれがあります。



急な坂道の走行は避けてください。
10°以上の坂道を走行しないでください。
転倒などの事故の原因になります。
走行できる角度は登坂、降坂ともに10°以下が目安です。
勾配がきつい場所を上り下りするときは、介助を頼んでください。



後退する場合、後方の人や障害物に注意してください。
バックミラーだけに頼らず、直接目で見て確認してください。バックミラーに頼りすぎると、事故の原因になります。



急な傾斜面の横断は避けてください。
横転のおそれがあります。
走行できる角度は4°以下が目安です。
傾斜面を横断するときは、身体を斜面の高い方に傾けてバランスを取ってください。



電源ランプが点滅しているときは、電動車いすに何らかの異常が発生しています。
32ページの内容に従って適切な対応をしてください。
放置すると事故や故障の原因になります。

注意



走行レバーを引いた状態で電源スイッチを「入」にしないでください。
電源ランプが6回点滅を繰り返し、電動車いすは作動しません。
走行レバーを定位置に戻してから、電源スイッチを入れなおしてください。



走行中は速度設定つまみを操作しないでください。
走行中の操作は、前方不注意の原因になります。



下り坂では速度設定つまみを低速にし、前進で慎重に降りてください。
スピードを出し過ぎると、転倒や横転の原因になります。



屋内などの狭い場所では速度設定つまみを低速にして走行してください。
スピードを出し過ぎると、事故の原因になります。



近くに人がいる場合や交通量が多い場合は十分注意してください。
事故の原因になります。



電動走行中は手動ブレーキレバーを使用しないでください。



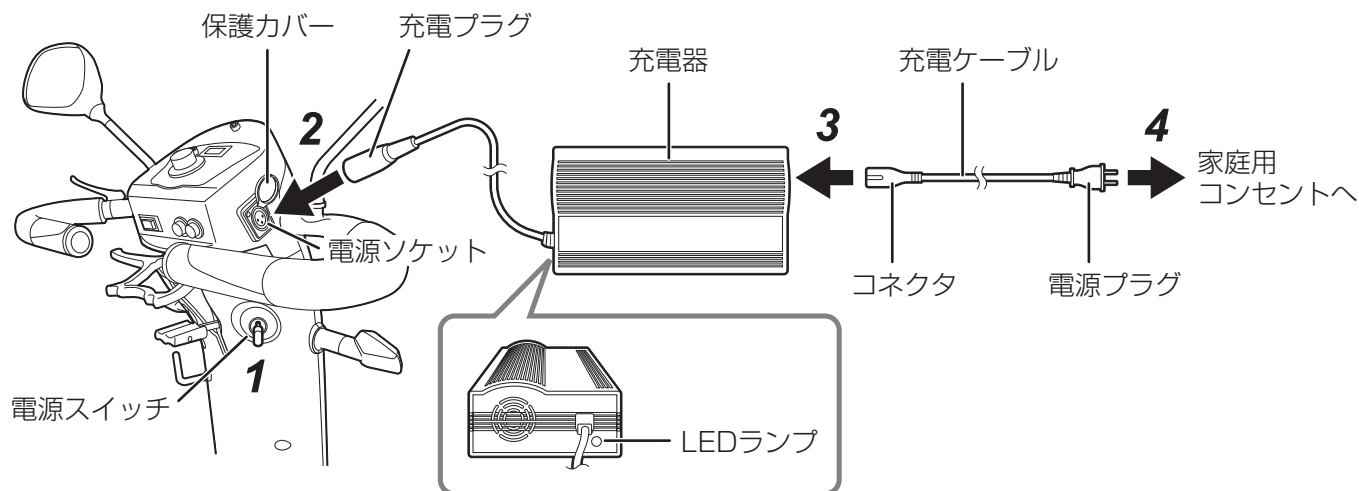
制動距離は、走行条件によって変わります。余裕をもって停止してください。



走行中や停止中に無線機などの強い電磁波の影響を受けると、警笛が鳴って停止することがあります。
この場合は一度電源スイッチを「切」にし、再度「入」にすると走行が可能になります。
それでも走行できない場合は、販売店までお問い合わせください。

6 充電のしかた

充電する



- 1 電動車いすの電源スイッチを「切」にします。
- 2 電源ソケットの保護カバーをずらして、充電プラグを電源ソケットに挿し込みます。
- 3 充電ケーブルのコネクタを充電器に接続します。
- 4 充電ケーブルの電源プラグを家庭用 100 V コンセントに挿し込みます。

充電が開始され、充電器のLEDランプが橙色に点灯します。
充電が完了したら、充電器のLEDランプが緑色に点灯します。

充電時間：約7時間

※ 充電時間は気温の影響により夏場に比べ冬場の方が長くなります。

- 5 充電が完了したら、充電プラグを抜いて保護カバーを閉じます。

■ 充電器のLEDランプについて

橙色点灯：充電中

緑色点灯：充電完了

赤色点灯：充電プラグが電動車いすの電源ソケットに正しく接続されていません。

赤色点滅：充電異常(→33ページ)

消灯：電源プラグがコンセントに挿し込まれていません。

■ 充電のタイミングについて

バッテリーを長持ちさせるためには、ご使用になられた後に必ず充電を行ってください。

充電をせずに放置してバッテリーが完全に放電してしまうと、バッテリーは劣化します。

また、バッテリーメーターでバッテリー残量が極めて少ない場合は、速やかに充電を行ってください。

警告

-  充電器が濡れそうな場所では充電しないでください。
漏電や感電するおそれがあります。
-  損傷、変形のある充電ケーブル、充電プラグ、電源プラグは使用しないでください。
感電・ショート(短絡)・発火の原因になります。
-  濡れた電源プラグや濡れた手で充電しないでください。
感電のおそれがあります。
-  充電器の分解・改造をしないでください。
充電できなかつたり、バッテリーを傷めたりするおそれがあります。
-  雨よけシートなどを掛けたまま充電しないでください。
引火爆発のおそれがあります。
-  直射日光を避け、風通しのよい場所で充電してください。
引火爆発のおそれがあります。
-  電源ソケットの保護カバーは、充電終了後は必ず閉めてください。
漏電や感電するおそれがあります。
-  雨・露を受けない、湿気の少ない場所で充電してください。
感電のおそれがあります。
-  電源プラグの抜き差しは確実に行ってください。
発熱、破損及び感電のおそれがあります。
-  延長コードを使用するときや屋外で電源プラグを接続する場合は、水や雨などがかからないように注意してください。
感電のおそれがあります。

注意

-  納品時、バッテリーは十分に充電されていません。
ご使用前にバッテリーを充電してください。
-  付属の充電器以外では充電しないでください。
充電できなかつたり、バッテリーを傷めたりするおそれがあります。
-  幼児やペットが出入りする場所では充電しないでください。
事故の原因になります。
-  充電するときは必ず満充電(充電完了)になるまで充電してください。
充電途中でコンセントを抜くとバッテリーの早期劣化の原因となります。
-  電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。
充電ケーブルを持って引っ張ると、充電ケーブルが断線するおそれがあります。

バッテリーについて

バッテリーの交換が必要な場合は必ず指定の純正品を使用してください。
これ以外のバッテリーを使用すると性能、寿命の保証ができません。
バッテリーの交換・廃棄は、お買い上げの販売店または弊社お客様相談室にご相談ください。

純正バッテリー

TAIWAN YUASA	U1-36E12
--------------	----------

注意

-  周辺の温度が -10℃ 以下の低温、または 40℃ 以上の高温の環境下では走行・保管しないでください。
バッテリーが凍結、または過熱し、早期劣化の原因となります。
-  周辺の温度が -10℃ 以下の低温、または 40℃ 以上の高温の環境下では充電しないでください。
バッテリーの破損や変形、早期劣化の原因となります。
-  バッテリーは分解・改造しないでください。
発熱、発火、感電の原因となります。

7 日常点検

⚠ 注意

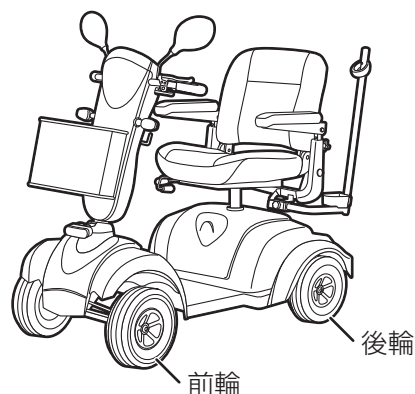
❗ 日常点検は、使用状態から判断し、適切な時期に行ってください。

❗ 日常の使用や点検で異常が見られる場合は、ご使用を中止し速やかに販売店までお問い合わせください。

❗ 日常点検は、走行確認ができる安全で広くて平らな場所で行ってください。

■ 前輪、後輪の確認

- ① 前輪、後輪に損傷がないか確認してください。
 - ② タイヤに著しい摩耗がないか確認してください。
 - ③ タイヤに金属片、石またはその他の異物が刺さっていないか確認してください。
- タイヤが磨り減って溝がなくなっていたり、走行に支障がある場合は交換が必要です。
販売店までお問い合わせください。

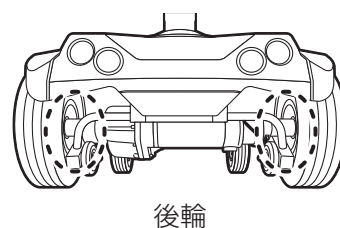
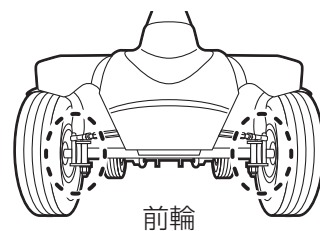


■ タイヤ回転部の異物確認

前輪、後輪のタイヤ回転部内側に、草やひもなどの異物が巻き付いていないか確認してください。

巻き付いている場合は、取り除いてください。

- 除去しきれない場合は、販売店までお問い合わせください。



■ ハンドルの操作確認

ハンドルを左右いっぱいに操作し、スムーズに動くか、ゆるみやガタつきがないか確認してください。

■ 電源スイッチの確認

電源スイッチを「入」にして電源ランプが点灯することを確認してください。

■ バッテリーメーターの確認

電源スイッチを「入」にし、バッテリーメーターで充電状態を確認してください。

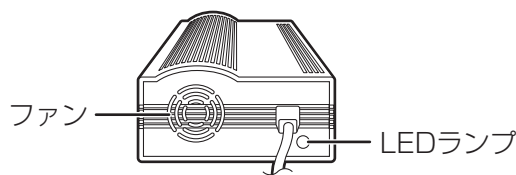
- バッテリー残量が少なくなっていたら、早めに充電してください。(→24ページ)

■ バックミラーの確認

バックミラーに汚れや損傷がないか、後方が正しく確認できるか確認してください。

■ 充電器の確認

- ① バッテリー充電中に充電器のLEDランプが橙色に点灯することを確認してください。(→24ページ)
- ② ファンに埃などが詰まっていないか確認してください。充電中にファンが作動していることを確認してください。



■ 走行レバー(→19ページ)の動作確認

- ① 右側の走行レバーを引いて、前進することを確認してください。
- ② 左側の走行レバーを引いて、後退するとともに警笛が鳴ることを確認してください。
- ③ 上記①②操作時に、走行レバーから手を放すと、電磁ブレーキにより自動的に止まることを確認してください。
そのままの状態ですべてを後方から押して、電磁ブレーキが正常に作動していることを確認してください。

■ 走行中の異常確認

走行して異常な音がしないか確認してください。

走行レバーを操作したとき、急発進するなどの異常がないか確認してください。

■ 速度設定ツマミの動作確認

速度設定ツマミ(→17ページ)を操作して、設定に応じて速度が変化することを確認してください。

■ ライトの確認

ライトボタン(→17ページ)を押してヘッドライトとリアライトが点灯することを確認してください。

■ 警笛の確認

警笛ボタン(→17ページ)を押して警笛が鳴ることを確認してください。

7 日常点検（つづき）

■ 切替レバーと手押し動作の確認

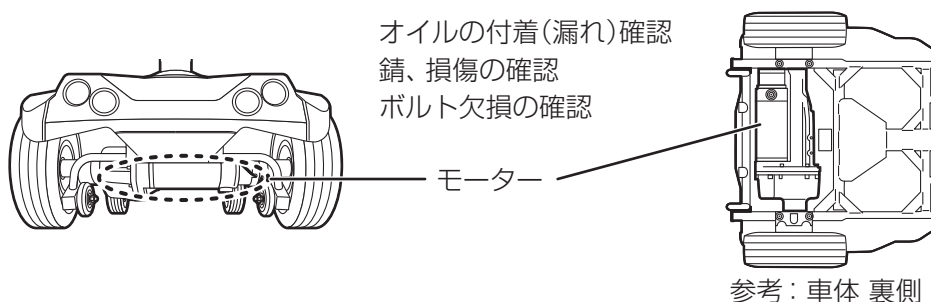
- ① 切替レバー（→20ページ）を「手動モード」の位置にしたとき、手押しで車体が動かせることを確認してください。
手押し中に車輪のガタつきや、異音がないことも確認してください。
- ② 切替レバーを「手動モード」の位置にしたとき、電源ランプが5回点滅を繰り返すことを確認してください。

■ 手動ブレーキの確認

手押しで車体を動かしながら、手動ブレーキ（→20ページ）を操作して、車体が確実に停止することを確認してください。

■ 車体下部の確認

- ① 電動車いすを保管している地面にオイルなどが付着していないか確認してください。
 - ② 車体の下部が異常に錆びていたり、損傷したりしていないか確認してください。
 - ③ オイル漏れや異常な錆、ボルトの欠損などの損傷がないか確認してください。
- ※点検時にモーターに触れる場合は、電源を切った状態で行ってください。



■ 日常のお手入れ

日常の汚れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

著しい汚れを落とす場合は、中性洗剤で汚れを拭き取り、乾いた柔らかい布で拭いてください。

⚠ 注意

- ❌ 汚れを拭き取るのに、シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤を含んだものおよび、研磨剤、漂白剤などは使用しないでください。
市販のクリーナーを使用するときは、一度目立たない所で試してから使用してください。
変色、変質、商品を傷める原因になります。



■ 通常の保管

電源スイッチを「切」にして、平らな場所で保管してください。

■ 長期の保管

長期にわたりご使用にならない場合は、必ずバッテリーを満充電してから保管してください。

また、バッテリーは使用していなくても少しずつ自己放電をします。

月に1度を目処に、必ず充電してください。

⚠ 注意

- ❌ 屋外で保管しないでください。
電動車いすが雨に濡れると、錆や各部が劣化する原因になります。
- ❌ 高温の場所(夏場の車のトランクなど)に保管しないでください。
樹脂部品の変形などの原因になります。

■ バッテリー

バッテリーの点検や交換は販売店にご相談ください。

⚠ 注意

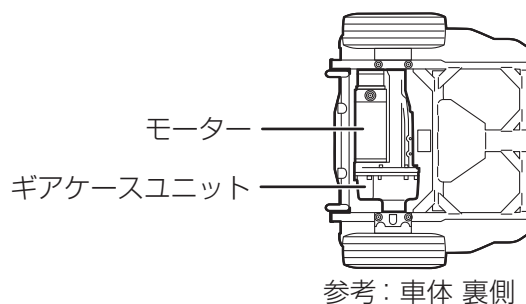
- ❌ バッテリーは分解・改造しないでください。
発熱、発火、感電の原因となります。

⚠ 注意

❗ 安全にご使用いただくために、1年ごとに定期点検を受けてください。
 電動車いすを使用しない場合でも定期点検を受けてください。
 定期点検のご依頼は販売店にお問い合わせください。

点検整備項目			
点検箇所		点検項目	点検方法
車体	ハンドル	ハンドルの操作具合、緩み及びガタつき	ハンドルを左右ストッパに当たるまで回し、スムーズに旋回すること。緩み及びガタつきがないこと。
		ステアリングの取り付け及び損傷	取り付け部に緩みがなく、ステアリングシャフトに損傷がないこと。
		ステアリングの軸受け部のガタつき	ハンドルバーシャフトの軸受け部に回転方向のガタつきがないこと。
	走行レバー	走行レバーの作動及び戻り具合	電動走行中に走行レバーを放したとき、スムーズに停止位置に戻り、電動車いすが確実に停止すること。
	電源スイッチ	電源スイッチの作動	電源スイッチの入／切ができること。
	操作パネル	速度設定ツマミの作動	速度設定ツマミの操作に応じて速度が変化すること。
		警笛ボタンの作動	警笛ボタンを押して警笛が鳴ること。
		ウインカーの作動	ウインカースイッチを押して、警笛と共にウインカーが点滅すること。
		ライトボタンの作動	ライトボタンを押してヘッドライト及びリアライトが点灯すること。
		ハザードボタンの作動	ハザードボタンを押して、前後左右のウインカーが点滅し、警笛が鳴ること。
		低速モードボタンの作動	低速モードボタンを押して、速度が変化すること。
	手動ブレーキ	ブレーキの効き具合	手押しで動かしながら手動ブレーキレバーを引き、電動車いすが確実に停止すること。
		手動ブレーキレバーの遊び	手押しで動かしながら手動ブレーキレバーを引いたとき、ブレーキレバーの引きしろが基準の範囲内にあること。 (基準値：15～23 mm)
		パーキングブレーキ	パーキングブレーキが掛かること。解除できること。
	シート	シートの取り付け状態	シートの取り付け状態及び取り付けボルトに緩みがないこと。
	ホイール	回転及び異音・ガタつきの確認	ホイールの回転がスムーズで、異音、ガタつき、及び振れなどがないこと。 また、ホイールの内側に草、ひも等の巻き付きがないこと。
		ボルト及びナットの緩み	ナットに緩みがなく、規定のトルクで締まっていること。 トルク基準値：前輪24～27Nm、後輪43～47Nm
		変形及び損傷	走行に支障をきたす変形及び損傷がないこと。
	フェンダー	変形及び損傷	走行に支障をきたす変形及び損傷がないこと。
	サスペンション	取り付け状況及び損傷	前輪のラバーサスペンションに脱落がなく、また走行に支障をきたす変形がないこと。

点検整備項目			
点検箇所		点検項目	点検方法
車体	タイヤ	タイヤの取り付け	タイヤが並行に取り付けられ、真っ直ぐに走行できること。
		タイヤの亀裂及び損傷	タイヤに亀裂及び損傷がないこと。
		タイヤの溝の深さ及び異常摩耗	異常な摩耗がないこと。
	転倒防止キャスター	変形及び損傷	走行に支障をきたす変形及び損傷がないこと。
	ボルト・ナット	ボルト・ナットの緩み	各部のボルト・ナットの緩みがないこと。
	電気配線	電気配線の損傷	電気配線に損傷がないこと。
		コネクターの緩み	コネクタ接続部に緩み及び損傷がないこと。
	電源ソケット	電源ソケットの損傷	電源ソケットに損傷がないこと。
	買い物袋フック	買い物袋フックの損傷	買い物袋フックに損傷がないこと。
	前かご	前かご及び取り付け金具の損傷	前かご及び取り付け金具に損傷がないこと。
駆動装置	モーター	回転及び異音	電動走行中、モーターの回転がスムーズで異音がないこと。
		電磁ブレーキの効き具合	切替レバーを「電動モード」の位置にしたとき、手押しで電動車いすが動かないこと。 最高速度で前進し、走行レバーを放したとき、電動車いすが 1.5 m 以内に停止すること。(平坦な路で)
	切替レバー	切替レバーの作動	切替レバーを操作し、手押しと電動走行の切替えができること。
		切替レバーの緩み及び作動	切替レバー取り付け部に緩みがないこと。 切替レバーが「手動モード」の位置にある状態で電源スイッチを「入」にしたとき、電源ランプが5回点滅を繰り返すこと。
	ギヤケースユニット	回転及び異音	電動走行中、ギヤの回転がスムーズで異音がないこと。
		ギヤオイルの漏れ	ギヤケースからオイル漏れがないこと。
充電器	電源ケーブル	電源ケーブルの損傷	電源ケーブルに損傷がないこと。
	充電プラグ	充電プラグの損傷	充電プラグに損傷がないこと。
	充電ランプ	表示の異常	充電中に橙色のLEDランプが点灯し、充電完了後に色が緑色に変化すること。
	ファン	ファンの作動	充電器作動時に充電器のファンが適宜動いていること。

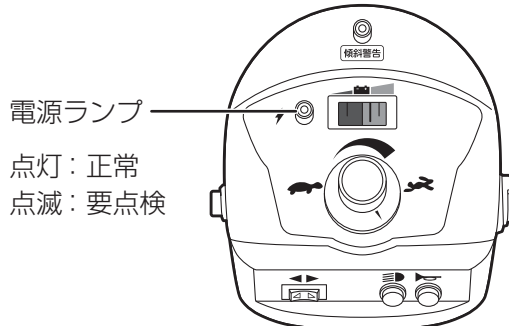


9 困ったときは

■ 電源ランプの連続点滅について

電源ランプの連続点滅は以下の内容を示します。

- 電源ランプは、連続点滅した後に約2秒間消灯し、再び連続点滅を繰り返します。



点滅回数	意味	状態	対応方法
1	バッテリー電圧が低下しています	走行可	バッテリーの残量が残りますかです。 バッテリーを充電してください。(→24ページ)
2	バッテリー電圧が極端に低下しています	走行不可	バッテリーの残量が極端に低下しています。 バッテリーを至急充電してください。(→24ページ) 充電後に電源を入れなおしてください。 充電しても改善しない場合は販売店にご連絡ください。
3	バッテリー電圧が高すぎる状態です	走行不可	充電中の場合は充電器を取り外してください。 確認後に電源を入れなおしてください。 電源を入れなおしても改善しない場合は販売店にご連絡ください。
4	モーターに問題を検知しました	走行不可	前輪・後輪の車輪に干渉する障害物や、タイヤ車軸に何か絡みつくなどしている場合、取り除いてください。 確認後に電源を入れなおしてください。 電源を入れなおしても改善しない場合は販売店にご連絡ください。
5	電磁ブレーキ回路に問題を検知しました	走行不可	切替レバーが「手動モード」の位置にある状態で電源を入れると発生します。 切替レバーを「電動モード」の位置にしてください。(→20ページ) 確認後に電源を入れなおしてください。 電源を入れなおしても改善しない場合は販売店にご連絡ください。
6	走行レバーに問題を検知しました	走行不可	走行レバーが引かれた状態で電源を入れると発生します。 走行レバーが何かで引かれている場合は取り除いてください。 確認後に電源を入れなおしてください。 電源を入れなおしても改善しない場合は販売店にご連絡ください。
7	速度調整器に問題を検知しました	走行不可	一度電源を切り、電源を入れなおしてください。 電源を入れなおしても改善しない場合は販売店にご連絡ください。
8	モーターに問題を検知しました	走行不可	
9	その他の問題を検知しました	走行不可	

■ こんなときには

使用中に「故障かな？」と思ったら、販売店に連絡する前に下記項目をご確認ください。

症状	チェック項目	対処方法
走行できない	電源スイッチが「切」になっていませんか？	電源スイッチを「入」にしてください。(→18ページ)
	バッテリーの残量はありますか？	バッテリーの残量が低下しているときは走行できない場合があります。 バッテリーの残量が少ない場合は、充電してください。(→24ページ)
	切替レバーを確認してください。	切替レバーが「手動モード」の位置にある場合は、走行できません。 切替レバーを「電動モード」の位置に戻してください。(→20ページ)
	パーキングブレーキが掛かっていませんか？	パーキングブレーキを解除してください。(→20ページ)
	電動車いすに負担が掛かっていませんか？	急な坂道、高い段差や大きな溝の乗越えなど、電動車いすに負担が掛かると走行できません。 負担の掛からない場所で走行してください。
	体重 100 kg 以上の方が使用していませんか？	使用者最大体重は積載物を含め 100 kg です。 100 kg を超えるとモーターに負担が掛かり走行できない場合があります。
異音がする	モーターから異音(ガラガラ、キィーキィー)が出ていませんか？	販売店に修理を依頼してください。
	ボルトやナットが緩んでいませんか？	販売店に修理を依頼してください。
走行距離が短くなった	外気温度が低くありませんか？	寒くなるとバッテリーの性能が低下し、走行距離が短くなります。
	バッテリーを充電してください。	バッテリーは経年劣化により性能が低下することがあります。 十分に充電しても一度に走行できる距離が極端に短くなった場合は、バッテリーの交換が必要です。 販売店にご相談ください。
充電できない	充電器のLEDランプが赤色点滅していませんか？	充電器の故障です。 販売店に修理を依頼してください。

10 諸元表

製造業者の型式		S745
製品の呼び方		回転性能 1.2 M 形 (タイプ I)
電動車いす	全長(最大)	1195 mm
	全幅(最大)	695 mm
	全高(最大)	1130 mm (バックミラー、杖ホルダー含む)
	前輪／後輪	10インチ ノーパンクタイヤ 3.00-4 4P.R.
	シート構造	前後位置調整式、アームレスト跳ね上げ式
	シート幅	470 mm
	シート奥行き	415 mm
	バッグサポート高	360 mm
	使用者最大体重	100 kg (積載物を含む)
	本体重量	約 92 kg (バッテリー含む)
	駆動モーター	DC 24 V 210 W × 1個 (30分定格出力)
	駆動方式	後2輪直接駆動方式(デフレンシャル付き)
	制動方式	モーター発電制動&電磁ブレーキ／手動ブレーキ(左後輪ドラム)
	操舵方式	オーバルハンドルによる前輪操舵
	制御方式	走行レバーによるマイコン無段階電子制御方式
	最高速度	前進：6 km/h 後退：2 km/h
	実用登坂角度	10°
	段差乗越え高さ ^{※1}	50 mm
	溝乗越え幅 ^{※1}	100 mm
	最小回転半径 ^{※1}	1530 mm
	連続走行距離 ^{※1 ※2}	約 22 km (走行条件、環境などにより変動します。)
バッテリー	種類／型式	鉛蓄電池／U1-36E-12 × 2個
	5時間容量	12 V・30.6 Ah × 2個
	期待寿命 ^{※3}	約600回
	使用環境温度	0℃～40℃
充電器	充電器	DC 24 V 5 A マイコン制御自動充電器(温度補正付)
	充電時間	約7時間
	環境条件	0℃～40℃

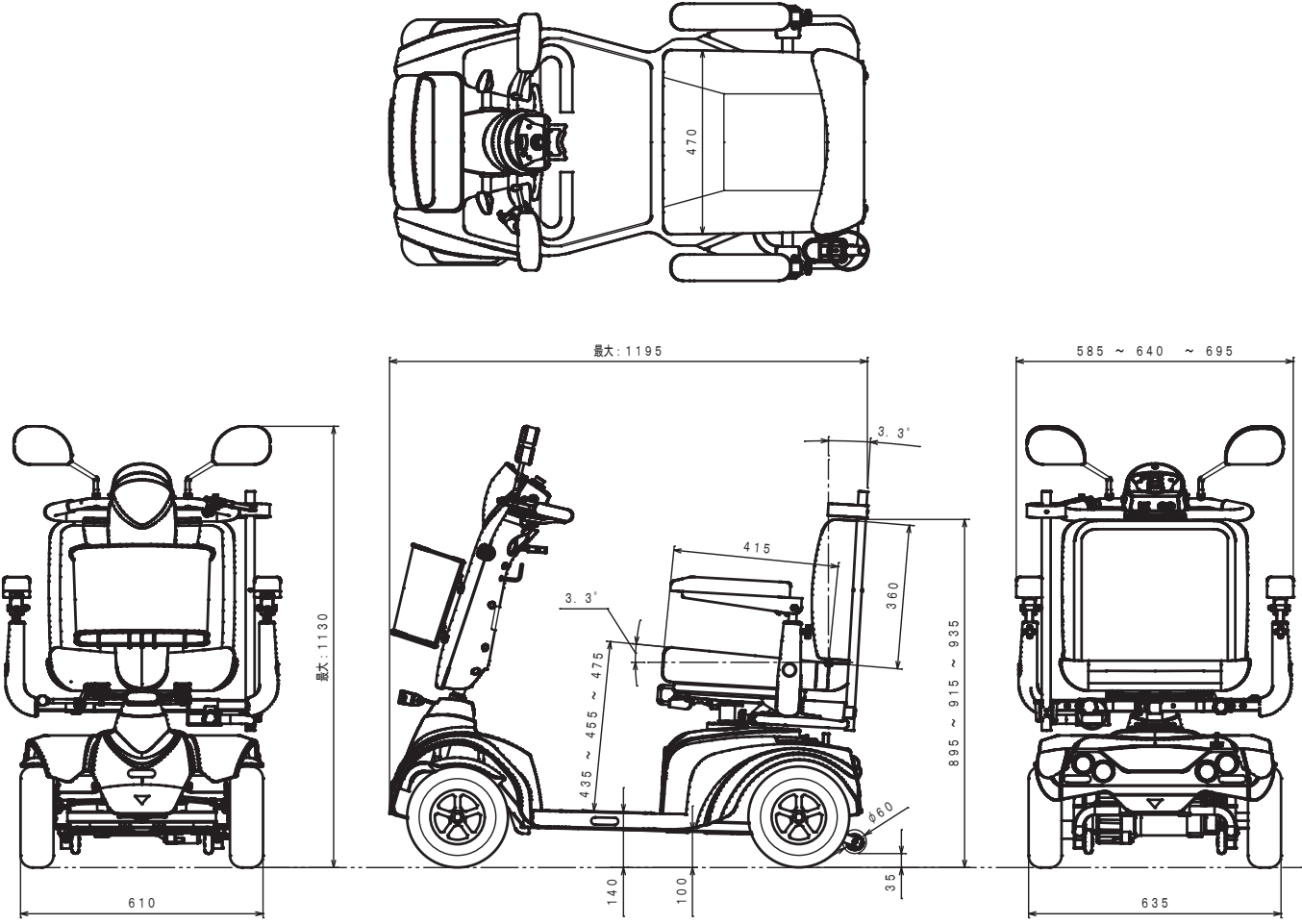
※1 試験方法は、JIS T 9208：2016 で定められています。

※2 連続走行距離は、常温、使用者最大体重、満充電の新品バッテリーで平坦路を前進の最大速度で連続走行し、バッテリー100%放電までの距離を示します。

※3 バッテリーの期待寿命は、使用環境や充電環境の影響を受けることがありますので、600回の充電回数を保証するものではありません。

- 製品の寸法には多少の誤差があります。
- 製品仕様は品質改善、製品追加のため予告なしに変更することがあります。

■ 寸法図



10諸元表（つづき）

■ 静的安定性試験結果

JIS T 9208：2016 11.1.6 で定められた条件のもとでの数値です。

項目	車輪ロックなしの場合		車輪ロックありの場合
	標準状態	最も不安定な状態	最も不安定な状態
後方安定性	20°	20°	17.3°
前方安定性	20°	20°	—
側方安定性	15°	15°	15°

■ 動的安定性試験結果

JIS T 9208：2016 11.1.14.1 で定められた条件のもとでの数値または結果です。

評価項目	座位の状態
	最も不安定な位置
斜面上での側方に対する動的安定性 (最大傾斜角度)	10°
円旋回での側方に対する動的安定性 (最大直径)	2.7 m
急激な円旋回での側方に対する動的安定性 (適合性)	適合
前向き段差乗り上げ時における後方の動的安定性 (最大段差高)	50 mm
前向き段差乗り上げ時における前方の動的安定性 (最大段差高)	50 mm
斜め段差降り時における側方の動的安定性 (最大段差高)	50 mm

試験条件：転倒防止装置なし、縁石乗り上げ装置なし、搭乗者体重 100 kg

点検・整備項目

(※点検時期以外でも、異常を感じた場合は点検・整備を受けてください。)

点検内容については30ページを参照してください。

●定期点検記録

定期点検を行ったら、下記表に記録してください。

点検箇所		点検項目	点検時期				
			1年	2年	3年	4年	5年
車体	ハンドル	操作具合、緩み、ガタツキ					
		ステアリングの取り付け及び損傷					
		ステアリング部の軸受け部のガタツキ					
	走行レバー	作動及び戻り具合					
	電源スイッチ	作動					
	操作パネル	速度設定ツマミの作動					
		警笛ボタンの作動					
		ウインカーの作動					
		ライトボタンの作動					
		ハザードボタンの作動					
		低速モードボタンの作動					
	手動ブレーキ	ブレーキの効き具合					
		手動ブレーキレバーの遊び					
		パーキングブレーキ					
	シート	シートの取り付け状態					
		破れ					
	ホイール	回転及び異音・ガタつきの確認					
		ボルト及びナットの緩み					
		変形及び損傷					
	フェンダー	変形及び損傷					
	サスペンション	取り付け状況及び損傷					
	タイヤ	タイヤの取り付け					
		タイヤの亀裂及び損傷					
		タイヤの溝の深さ及び異常摩耗					
	転倒防止キャスター	変形及び損傷					
	ボルト・ナット	ボルト・ナットの緩み					

11 点検・整備の記録（つづき）

点検箇所		点検項目	点検時期				
			1年	2年	3年	4年	5年
車体	電気配線	電気配線の損傷					
		コネクタの緩み					
	電源ソケット	電源ソケットの損傷					
	前かご	前かご及び取り付け金具の損傷					
駆動装置	モーター	回転及び異音					
		電磁ブレーキの効き具合					
	切替レバー	切替レバーの作動及び緩み					
	ギヤケースユニット	回転及び異音					
		ギヤオイルの漏れ					
充電器	電源ケーブル	電源ケーブルの損傷					
	充電プラグ	充電プラグの損傷					
	充電ランプ	表示の異常					
	ファン	ファンの作動					

●修理記録

修理を行ったら、下記表に記録してください。

点検 修理年月日	実施した販売店ならびに 実施者の氏名	不具合内容	修理内容	交換した部品

保証書

この製品は、厳重なる品質管理及び検査を経てお届けしたものです。
お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本保証書記載内容によりお買い上げの販売店が受け付け致します。
※ 修理は、お買い上げの販売店に必ず本保証書を提示の上、ご依頼下さい。
※ 本保証書は再発行致しませんので、大切に保管して下さい。

フランスベッド株式会社

〒196-0022 東京都昭島市中神町1148番地5
TEL 042(543)3111(代表)

型 式	ハンドル形電 車いす S745
保証期間	お買い上げ日 年間
お 客 様	ご住所 〒
	ご氏名
	電話番号

見本

保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態において万一故障した場合には、無償修理致します。
お買い上げ日及び販売店名は、納品書又は領収書等で確認させていただきますので、保証書とともに紛失しないよう保管願います。
- 次のような場合には、保証期間内でも有償修理になります。
(イ) 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
(ロ) お買い上げ後の転倒、落下等による故障及び損傷。
(ハ) 火災、地震、風水害、落雷やその他の天災地変、公害、ガス害、塩害等による故障及び損傷。
(ニ) 電源を使用する製品においては、指定電源(日本国内仕様)AC100V 50/60Hz以外での使用や異常電圧による故障及び損傷。
(ホ) 本保証書のご提示がない場合。
(ヘ) 本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入がなく、納品書又は領収書等にて必要事項の確認ができなかった場合。
(ト) 保証書の記載事項の字句を書き替えられた場合。
(チ) 消耗部品の取替え及び点検等の費用。
(リ) 離島や離島に準ずる遠隔地については、弊社規定に沿った訪問に要する実費を申し受けることがあります。
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 法的責任
この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問合わせ下さい。
- 保証の対象
本体及び付属品。但し、消耗部品、縫製部品、別売部品は除く。
- 免責
本製品の故障の放置又はその使用によって生じた、直接、間接の損害についての保証は、一切その責を負いませんので、予めご了承下さい。

修理の記録

保証書および保証期間について

保証書：所定事項の記入および記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間中に修理を依頼される場合：保証書の記載内容に従って修理いたします。

保証期間を過ぎて修理を依頼する場合：修理すれば使用できる場合は、希望により有料で修理いたします。

消耗品(タイヤ、バッテリー、ブレーキワイヤ、モーター本体)は保証の対象外となります。

修理・お取扱い・お手入れなどのご相談は、
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に取扱説明書をよく読み、再度点検の上、お問い合わせください。

ご連絡いただきたい内容：ご住所、ご施設名、ご氏名、電話番号、型式名、販売店、
お買い上げ日、故障または異常の内容(できるだけ詳しく)

弊社の商品は厳格な検査を経て納入致しておりますが、万一不具合な点がございましたら、
販売店または弊社お客様相談室までお問い合わせください。

フリーダイヤル  0120-39-2824

受付時間：月～金曜日 9時～12時、13時～17時

※土、日、祝祭日、年末、年始、弊社指定の休日等は除く

製造元：フランスベッド株式会社
〒196-0022 東京都昭島市中神町1148番地5

※ 電動車いすの廃棄については、最寄りの行政担当窓口におたずねください。